

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301010100		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	敬老事業		予算事業名	敬老事業	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者の生きがいがいづくりと社会参加を推進する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	川戸 沙紀
取組み事項		生きがいがいづくりを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市百歳翁(媪)敬彰要綱、相生市敬老祝金支給要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	最高齢者、最高齢夫婦、百歳到達者、9月15日現在で77歳(喜寿)を迎えた市民、80歳到達者					
	誰(何)を対象として	長寿を祝福する					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生きがいを感じてもらう					

2 事業の概要 Do

実施の概要		・市の最高齢者及び最高齢夫婦を祝福。9月に市長訪問、祝品の贈呈(初年度のみ) ・百歳到達者を祝福(市長訪問、祝金贈呈) ・80歳到達者記念写真撮影 ・9月15日現在77歳(喜寿)を迎えた方に祝金を支給				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	最高齢者、最高齢夫婦祝福	件	1	1	0	2
	百歳到達者祝福	件	8	7	12	13
	77歳(喜寿)祝福	件	396	346	403	470
80歳到達者記念写真	件	245	264	251	350	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.396	0.381	96	0.264	69	0.432	164	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,308,126	3,219,261	97	2,408,664	75	3,774,664	157	
	事業費	5,570,304	5,210,764	94	5,440,930	104	6,761,000	124	
	合計	8,878,430	8,430,025	95	7,849,594	93	10,535,664	134	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,878,430	8,430,025	95	7,849,594	93	10,535,664	134	
合計	8,878,430	8,430,025	95	7,849,594	93	10,535,664	134		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		80歳到達者記念写真撮影者数							
指標説明(式)		80歳到達者記念写真撮影者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	370	385	104.1	351	91.2	350	99.7	
	実績	245	264	107.8	251	95.1			
指標名2		喜寿祝支給件数							
指標説明(式)		喜寿(77歳)祝支給件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	415	360	86.7	420	116.7	470	111.9	
	実績	396	346	87.4	403	116.5			

【効率性】

指標名1		祝福1件当たりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費/延件数(実績)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8603	8286	96.3	7906	95.4	8097	102.4	
	実績	8557	8432	98.5	8169	96.9			

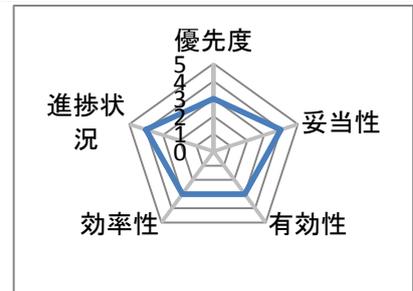
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	核家族化や地域共同体の希薄化等により、長寿を祝ってもらう機会のない高齢者も増加している。行政が祝福する意義はあると考える。	3
	上位施策への貢献度	敬老事業の機会に高齢者の在住確認が出来る。	
効率性	コストの節減	H17の88歳(米寿)の支給の廃止、H18の99歳(白寿)の支給廃止により、支給コストは低減したが、80歳到達記念写真の復活により増。H29年度において、77歳の祝品の削減、100歳の祝金の減額をおこなった。	3
	手段の最適性	市長が訪問し直接祝うなど、敬老の思いを感じてもらっている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	80歳到達記念写真の実績が対象者の約7割となっている。実施方法、内容の検討をしていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	80歳到達の祝について、実施方法及び内容を引き続き検討する。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301010200		事業の種類	4					
年度	29	事務事業名	高齢者教育事業		予算事業名	高齢者教育事業		優先度	3		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課					
施策名(中)		高齢者の生きがいつくりと社会参加を推進する			担当課長	番匠 真由美		担当者名	山本 健太		
取組み事項		生きがいつくりを推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無		
実施計画事業名											
根拠法規及び関連法規											
事業の目的	誰のために(具体的に)	概ね満60歳以上の市民									
	誰(何)を対象として	概ね満60歳以上の市民									
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の生涯学習を行うことで、生きがいをもって自立した生活が送れる									

2 事業の概要 Do

実施の概要		金ヶ崎学園大学の開設									
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画					
	金ヶ崎学園大学	回数	14	13	14	14					

3 投入資源

		会計区分			一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考		
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100			
	参事以下職員	0.120	0.112	93	0.112	100	0.112	100			
	臨時職員	0.440	0.440	100	0.440	100	0.440	100			
支出内訳	人件費	2,351,454	2,339,426	99	2,394,488	102	2,482,424	104			
	事業費	668,818	1,281,745	192	1,374,620	107	1,379,000	100			
	合計	3,020,272	3,621,171	120	3,769,108	104	3,861,424	102			
財源内訳	国庫支出金			-		-		-			
	県支出金			-		-		-			
	市債			-		-		-			
	その他	774,000	1,585,700	205	1,494,000	94	1,510,000	101			
	一般財源	2,246,272	2,035,471	91	2,275,108	112	2,351,424	103			
	合計	3,020,272	3,621,171	120	3,769,108	104	3,861,424	102			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		金ヶ崎学園大学学園生									
指標説明(式)		学園生人数									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考		
人数	目標	550	550	100.0	550	100.0	550	100.0			
	実績	538	522	97.0	512	98.1					
指標名2		金ヶ崎学園大学年間延参加者数									
指標説明(式)		年間延参加者数									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考		
人数	目標	8000	8000	100.0	8000	100.0	8000	100.0			
	実績	6770	5815	85.9	6873	118.2					

【効率性】

指標名1		1回当たり単位コスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷開設回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	221691	270084	121.8	271868	100.7	275816	101.5	
	実績	215733	278551	129.1	269222	96.7			

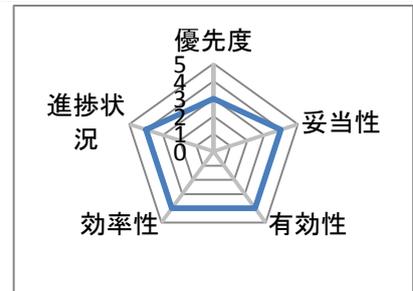
指標名2		学園生一人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷学園生人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5643	6874	121.8	6920	100.7	7020	101.4	
	実績	5613	6937	123.6	7361	106.1			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設のキャパの関係もあるが、受講者数は上限まできている	4
	市民サービス	高齢化が進んでいる	
効率性	コストの節減	参加募集チラシは庁内印刷にするなどコストの節減に努めている	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	学習を通じて地域のリーダーとして活躍していただけるような意識付けをする。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズに応えるため、参加しやすい日程で開講している。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301020100	事業の種類	5
年度	29	事務事業名	高年クラブ等社会活動促進事業	予算事業名	高年クラブ等社会活動促進事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室
施策名(中)		高齢者の生きがいつくりと社会参加を推進する		担当課長	三浦 貴史
取組み事項		社会参加と交流を促進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	杉本 裕美
実施計画事業名				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		老人福祉法 在宅福祉事業費補助金交付要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ			
	誰(何)を対象として	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の教養の向上、健康増進及び生きがいつくりを目的に結成された団体である高年クラブに、活動促進のための補助を行い、高年クラブの目的達成を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		高年クラブ連合会…連合会の広報活動、交通安全活動、一人暮らし等への声かけ運動、清掃奉仕活動費等への補助、健康づくり活動や文化教養活動の実施委託を行っている。単位クラブ…清掃活動、友愛訪問、健康づくり活動、子育て相談等の事業に対する補助。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	助成対象単位クラブ数	クラブ	22	22	21	20
	助成対象クラブ会員数	人	1195	1058	1064	977

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.204	0.196	96	0.248	127	0.236	95	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,871,582	1,825,286	98	2,285,176	125	2,217,248	97	
	事業費	3,161,073	3,140,567	99	3,084,376	98	3,056,000	99	
	合計	5,032,655	4,965,853	99	5,369,552	108	5,273,248	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,544,000	1,542,000	100	1,308,000	85	1,325,000	101	
	市債			-		-		-	
	その他	843,398		0		-		-	
	一般財源	2,645,257	3,423,853	129	4,061,552	119	3,948,248	97	
合計	5,032,655	4,965,853	99	5,369,552	108	5,273,248	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成対象単位クラブ数							
指標説明(式)		助成対象単位クラブ数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
クラブ	目標	24	24	100.0	22	91.7	20	90.9	
	実績	22	22	100.0	21	95.5			
指標名2		助成対象クラブ会員数							
指標説明(式)		助成対象クラブ会員数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1400	1400	100.0	1100	78.6	977	88.8	
	実績	1195	1058	88.5	1064	100.6			

【効率性】

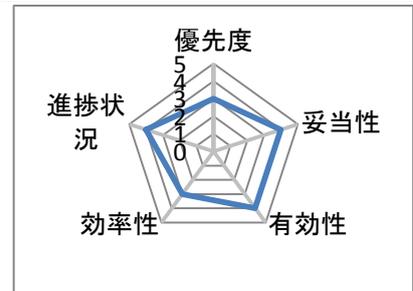
指標名1		クラブ会員一人あたりの費用							
指標説明(式)		事業費/クラブ会員数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2381	2376	99.8	2848	119.9	3127	109.8	
	実績	2645	2968	112.2	2898	97.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数クラブ数とも減少傾向にあり、加入促進を図る必要がある。	4
	市民サービス	高年クラブの活動強化により地域の共助力が向上し、地域住民の福祉向上が期待できる。	
効率性	手段の最適性	活動内容を適宜見直し、高年クラブの魅力アップを図り新規会員の増加を図る必要がある。	3
	執行体制の効率性	事業計画等の作成により、広く会員の意見が反映される仕組みづくりが必要。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数・クラブ数の減少。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	高年クラブ存在や、クラブ活動を積極的に広く周知し、高齢者が生きがいや役割をもてるまちづくりを進める。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010100	事業の種類	7
年度	29	事務事業名	老人福祉施設整備事業	予算事業名	老人福祉施設整備事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	有
実施計画事業名		榑の園耐震診断 養護老人ホーム愛老園エレベーター外改修事業		老人福祉施設整備補助事業	
根拠法規及び関連法規		相生市各種補助金等交付規則・相生市社会福祉法人の助成に関する条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の老人福祉施設・市内高齢者			
	誰(何)を対象として	市内の老人福祉施設・市内高齢者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	第6期介護保健事業計画を実現し、地域の高齢者が住み慣れた地域で生活継続できるよう、質の高い介護サービス基盤の整備を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		老人福祉施設事業者に対し、施設整備等に係る補助金を交付する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	認知症対応型グループホーム	件	0	0	1	
	小規模多機能型居宅介護事業所	件	0	0	0	
	養護老人ホーム「愛老園」	件	0	0	0	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	件				

3 投入資源

		会計区分 一般会計				事業費単位:円			
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.155	0.160	103	0.160	100	0.072	45	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,504,964	1,554,026	103	1,605,992	103	914,104	57	
	事業費	0	1,824,000	-	43,178,000	2,367	1,311,000	3	
	合計	1,504,964	3,378,026	224	44,783,992	1,326	2,225,104	5	
財源内訳	国庫支出金			-	43,178,000	-		0	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,504,964	3,378,026	224	1,605,992	48	2,225,104	139	
合計	1,504,964	3,378,026	224	44,783,992	1,326	2,225,104	5		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域密着型(介護予防)サービス事業所の整備数(第6期)							
指標説明(式)		認知症対応型グループホーム + 小規模多機能型居宅介護事業所の整備件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
箇所	目標	0	2	-	1	50.0	0	0.0	
	実績	0	0	-					
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

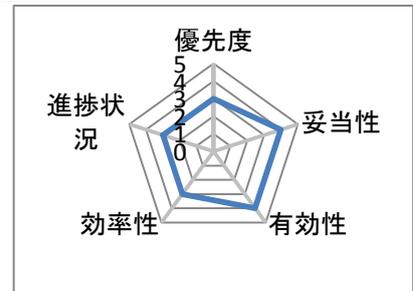
指標名1		市以外の財源の割合							
指標説明(式)		国・県の補助金／総事業費×100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0	0.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成28年度整備に向けて計画どおり公募を行ったが、小規模多機能型サービス事業所サテライト型の応募がなかったため、整備なし。グループホームは、29年度に開設。椿の園の耐震診断が遅れている。	4
効率性	負担割合の適正化	国(県)の助成制度により、地域密着型に関する補助率は10/10であるため、市の事業費は事務費・人件費のみである。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	小規模多機能型サービス事業所のサテライト型の整備なし。椿の園の耐震診断が当初計画より遅れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	高齢者の生命の安全確保のため、入所施設である「椿の園」の耐震診断は必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	全庁的な施設整備(修繕等)計画が必要。第7期介護保険計画により定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備に向けて取り組む。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010200		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	介護保険総務管理事務		予算事業名	介護保険事業ほか 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	富田 智美
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定					
根拠法規及び関連法規		介護保険法 ↑事務事業名「介護保険総務管理事務」へ変更。実施計画事業名も削除？					
事業の目的	誰のために(具体的に)	支援を必要とする高齢者等					
	誰(何)を対象として	支援を必要とする高齢者及び要介護認定者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	(1)健康な高齢者の増進と要介護認定者の進行防止 (2)身近な地域で必要なサービスが提供できる環境整備					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険制度を適正に実施していく為、必要なシステム改修などの総務管理を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	事業費	円	22077236	11721145	16020142	13808000

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.144	0.176	122	0.448	255	0.152	34	
	臨時職員	0.016	0.012	75		0		-	
支出内訳	人件費	1,462,966	1,705,870	117	3,828,776	224	1,549,784	40	
	事業費	22,077,236	11,721,145	53	16,020,142	137	13,808,000	86	
	合計	23,540,202	13,427,015	57	19,848,918	148	15,357,784	77	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	23,540,202	13,427,015	57	19,848,918	148	15,357,784	77	
合計	23,540,202	13,427,015	57	19,848,918	148	15,357,784	77		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

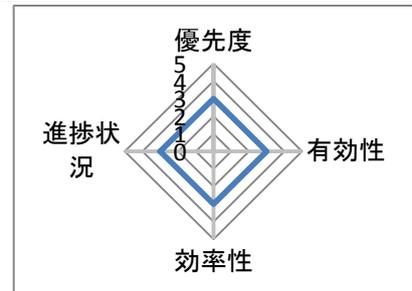
指標名1		高齢者1人当たりの事業費							
指標説明(式)		総事業費／年度末時の高齢者人口							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2335.5	1400	59.9	1595	113.9	1477	92.6	
	実績	2294	1298	56.6	1910	147.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	介護保険制度を適正に実施していく為、必要なシステム改修などの総務管理を行っている。	3
効率性	執行体制の効率性	長期継続契約の導入や、バーコード入りの宛名を使用することにより郵送代の削減等、費用の抑制に努めた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	業務が増大しており、総務管理費の増加につながっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	公共性	介護保険制度を適正に運用していく為、総務管理を行っていく。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010300		事業の種類	1			
年度	29	事務事業名	介護保険料賦課事業		予算事業名	介護保険事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	三浦 貴史		担当者名	尾川 真紀
取組み事項		介護サービスを充実する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		介護保険法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民							
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な保険料賦課							

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険料の賦課、通知を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	保険料賦課人数	人	10232	10315	10357	10391	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.491	0.376	77	0.316	84	0.276	87	
	臨時職員	0.120	0.120	100	0.080	67		0	
支出内訳	人件費	4,321,196	3,494,426	81	3,020,720	86	2,535,088	84	
	事業費	1,062,541	1,041,234	98	867,559	83	936,000	108	
	合計	5,383,737	4,535,660	84	3,888,279	86	3,471,088	89	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,383,737	4,535,660	84	3,888,279	86	3,471,088	89	
合計	5,383,737	4,535,660	84	3,888,279	86	3,471,088	89		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		高齢化率							
指標説明(式)		高齢者人口/相生市人口							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	33	34	103.0	35	102.9	35	100.0	
	実績	33.78	34.24	101.4	34.67	101.3			
指標名2		保険料(普通徴収)徴収率							
指標説明(式)		普通徴収収納額/普通徴収調定額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	91.90	92.28	100.4	91.81	99.5			

【効率性】

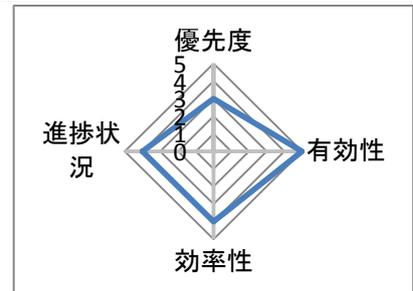
指標名1		保険料賦課状況(一人当たりの事業費)							
指標説明(式)		事業費/保険料賦課人員							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	119	108	90.8	95	88.0	90	94.7	
	実績	103	101	98.1	84	83.2			
指標名2		口座振替利用者状況							
指標説明(式)		口座振替利用者数/普徴数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	0.3	0.3	100.0	0.3	100.0	0.3	100.0	
	実績	0.23	0.25	108.7	0.21	84.0			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	納入通知書送付時に文書を同封することにより、保険料算定方法等について周知を行った。また、納付書納付の人には、給付制限に関するチラシを同封することにより、徴収率の向上を目指した。	5
	組織運営・適正管理	適正・確実に賦課を行った。	
効率性	手段の最適性	65歳到達時の保険証発送時に口座振替の依頼書を同封して、口座振替利用者の増加を目指した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	給付制限につながらないよう、保険料の徴収率を上げることが課題である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	保険料や被保険者証送付時のチラシを改善し、保険料の利用目的や制度の周知を図ることにより、利用者の納付意識を高め、徴収率の向上を目指す。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010400	事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	介護認定審査会事業	予算事業名	介護保険事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	富田 智美
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護を必要とする高齢者等					
	誰(何)を対象として	介護を必要とする高齢者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護認定審査の適正な実施					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険認定審査会を開催し、要介護判定を行い、要介護認定結果を通知する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	要介護認定調査件数	件	1962	1923	1676	1600	
	要介護認定審査件数	件	1930	1860	1581	1550	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.860	1.044	121	0.785	75	0.472	60	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.320	160		0	
支出内訳	人件費	7,283,574	8,736,366	120	7,272,622	83	4,092,504	56	
	事業費	2,566,080	2,499,180	97	2,475,820	99	2,585,000	104	
	合計	9,849,654	11,235,546	114	9,748,442	87	6,677,504	68	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,849,654	11,235,546	114	9,748,442	87	6,677,504	68	
合計	9,849,654	11,235,546	114	9,748,442	87	6,677,504	68		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		平均介護認定事務処理日数							
指標説明(式)		延べ介護認定事務処理日数 / 認定審査件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
日	目標	30	30	100.0	30	100.0	30	100.0	
	実績	31	30	96.8	30	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

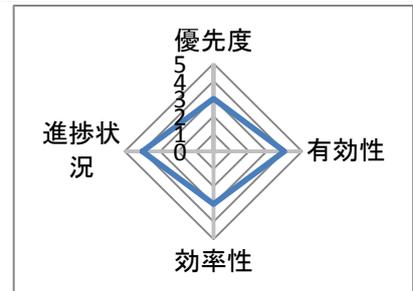
指標名1		認定調査状況(1件当たりの調査費)							
指標説明(式)		(目)認定調査等費/調査件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8025	8550	106.5	8500	99.4	10573	124.4	
	実績	8402	8100	96.4	8049	99.4			
指標名2		認定審査状況(1件当たりの審査費)							
指標説明(式)		(目)介護認定審査会費/審査件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1277	1164	91.2	1197	102.8	1667	139.3	
	実績	1350	1344	99.6	1565	116.4			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	申請から認定までの業務を概ね適正に処理できている。処理日数が目標日数をこえたケースもあるため処理方法など今後も検討が必要。	4
	成果の向上	申請時期や適正な申請について適宜窓口での案内を行っている。	
効率性	執行体制の効率性	平成28年度に引き続き、調査員の確保により調査の体制は安定していた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	審査会資料作成にかかる時間が増大している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	専門の適正化調査員(パート)を採用し、審査会の適正化に特化した職員の育成・スキルアップを目指している。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010500		事業の種類	1			
年度	29	事務事業名	認定調査事業		予算事業名	介護保険事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	三浦 貴史		担当者名	富田 智美
取組み事項		介護サービスを充実する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		介護保険法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護を必要とする高齢者等							
	誰(何)を対象として	介護を必要とする高齢者等							
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護認定調査の適正な実施							

2 事業の概要 Do

実施の概要		要介護認定申請を受け、要介護認定調査を実施する					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	介護認定調査員	人	9	9	9	9	
	要介護認定調査	件	1962	1923	1676	1600	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.120	0.052	43	0.100	192	0.040	40	
	臨時職員	0.592	0.632	107	3.116	493	3.078	99	
支出内訳	人件費	2,734,342	2,387,870	87	9,350,456	392	9,407,508	101	
	事業費	15,372,472	15,892,425	103	13,490,151	85	16,918,000	125	
	合計	18,106,814	18,280,295	101	22,840,607	125	26,325,508	115	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	18,106,814	18,280,295	101	22,840,607	125	26,325,508	115	
合計	18,106,814	18,280,295	101	22,840,607	125	26,325,508	115		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		介護認定調査件数							
指標説明(式)		介護認定調査件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2054	2160	105.2	2160	100.0	1600	74.1	
	実績	1962	1923	98.0	1676	87.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

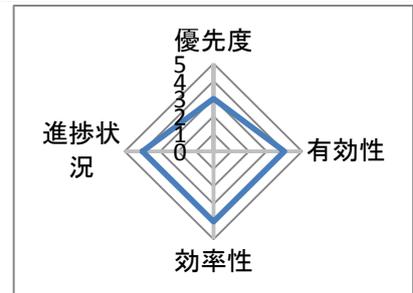
指標名1		認定調査状況(1件当たりの調査費)							
指標説明(式)		(目)認定調査等費/調査件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8026	8550	106.5	8500	99.4	10573	124.4	
	実績	8402	8100	96.4	8049	99.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	申請から調査までの業務を概ね適正に処理出来ている。 人員確保により処理日数の短縮が図れている。	4
	成果の向上	新人調査員の研修受講、月一回の会議において注意事項の確認、調査員間での内容確認作業の実施等により、より適正な調査となっている。	
効率性	執行体制の効率性	平成28年度に引き続き、調査員の確保により調査の体制は安定していた。	4
	コストの節減	平成29年度より実施している総合事業において、認定を受けなくても簡単なチェックリストのみでサービスを受けれる仕組みにしたことにより、認定件数の削減につながった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	状態が安定していない等、調査時期が適切でないケースがあった。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	認定調査員自らが、調査結果の点検を行い、適正な認定調査に努めていく。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010600	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	介護保険給付事務	予算事業名	介護保険事業ほか 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史 担当者名 尾川 真紀
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		介護保険法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護サービス利用者			
	誰(何)を対象として	介護サービス利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護状態となった者が有する能力に応じた、必要な介護サービスの利用			

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険給付情報を管理し、介護サービス費等を支給する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	認定者数	人	1851	1882	1672	1895
	保険給付費総額	円	2549960312	2512939149	2509688190	2617359000

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.248	0.622	251	0.480	77	0.392	82	
	臨時職員			-	0.160	-		0	
支出内訳	人件費	2,200,790	5,035,196	229	4,497,192	89	3,456,824	77	
	事業費	2,549,960,312	2,512,939,149	99	2,509,688,190	100	2,617,359,000	104	
	合計	2,552,161,102	2,517,974,345	99	2,514,185,382	100	2,620,815,824	104	
財源内訳	国庫支出金	585,739,645	629,695,785	108	592,763,732	94	600,493,000	101	
	県支出金	374,937,000	384,620,000	103	368,366,000	96	383,780,000	104	
	市債			-		-		-	
	その他	1,267,256,481	1,256,417,399	99	1,253,580,402	100	1,334,082,570	106	
	一般財源	324,227,976	247,241,161	76	299,475,248	121	302,460,254	101	
合計	2,552,161,102	2,517,974,345	99	2,514,185,382	100	2,620,815,824	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たり保険給付費総額/年間							
指標説明(式)		保険給付費総額(=事業費)/認定者数(年度末)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1458476	1433166	98.3	1415728	98.8	1381192	97.6	
	実績	1377612	1335249	96.9	1501010	112.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

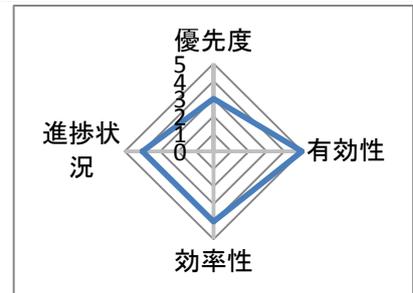
指標名1		高齢者一人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費総額／年度末時の高齢者人口							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	260,866	259,258	99.4	259,616	100.1	251,887	97.0	
	実績	248,509	242,960	97.8	241,548	99.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	要介護認定者、給付費とも事業計画の計画値の範囲内で推移しており、適正な制度管理を行っている。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	介護保険法に基づき適正な介護サービス費の支給を行った。	
効率性	コストの節減	高齢化率や要介護認定者数は増加傾向にあるが、適正な介護サービスの利用を呼び掛けることにより、事業費は減少している。また、早期より介護サービスを利用される人の増加により一人当たりの事業費も減少している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業所への実地指導や監査、ケアプランチェック等の適正化を行い、介護給付費の適正化を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	地域密着型サービスなど市が指定権者である事業所が多くなり、自己点検シートを導入するなどさらに細やかな指導を行っていく。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010700	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	家族介護用品支給事業	予算事業名	家族介護用品支給事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史
				担当者名	川戸 沙紀
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市家族介護用品支給事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の寝たきりや認知症の高齢者を介護している家族			
	誰(何)を対象として	要介護4相当以上の寝たきりや認知症の高齢者を介護している市民税非課税世帯に該当する家族			
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護用品を支給し、当該介護者又は寝たきり高齢者等の精神的、経済的負担を軽減			

2 事業の概要 Do

実施の概要		紙おむつ尿取りパットの介護用品代を年10万円の範囲内で支給する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	支給人数	人	12	9	7	10

3 投入資源

		会計区分 介護保険特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.020	0.080	400	0.060	75	0.052	87	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	494,894	951,226	192	834,192	88	755,184	91	
	事業費	759,480	451,536	59	368,423	82	1,000,000	271	
	合計	1,254,374	1,402,762	112	1,202,615	86	1,755,184	146	
財源内訳	国庫支出金	296,197	176,099	59	143,684	82	385,000	268	
	県支出金	148,099	88,050	59	71,842	82	192,500	268	
	市債			-		-		-	
	その他	167,086	99,337	59	81,053	82	230,000	284	
	一般財源	642,992	1,039,276	162	906,036	87	947,684	105	
	合計	1,254,374	1,402,762	112	1,202,615	86	1,755,184	146	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人数							
指標説明(式)		支給人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	15	15	100.0	13	86.7	10	76.9	
	実績	12	9	75.0	7	77.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

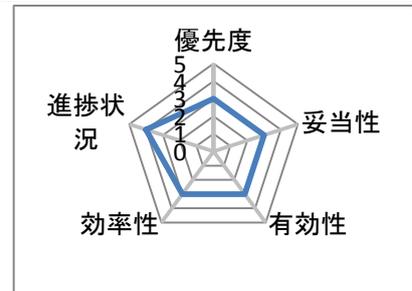
指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費／支給人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	63290	50170	79.3	52632	104.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民税非課税世帯の内、要介護4相当以上の寝たきり高齢者等を介護している世帯は多くないので、支給者数は少ない。	3
	上位施策への貢献度	在宅生活の維持が図られる事によって、高齢者にとって住み慣れた地域での生活継続が、市にとっては施設整備を抑制し保険料の軽減が図られる。	
効率性	手段の最適性	市が発行した給付券との引き換えにより納品する仕組みにより、不正受給の防止が図られている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	周知を継続するも、利用者数は少ないため、実施について再検討が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	必要とする人が利用できるよう広報紙等への掲載、ケアマネ、民生委員等へさらに周知を図る。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010800		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	家族介護慰労金支給事業		予算事業名	家族介護慰労金支給事業 優先度 3		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史		担当者名	川戸 沙紀
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市家族介護慰労金支給事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護保険サービスを使わずに、在宅で寝たきり相当の高齢者を介護している家族						
	誰(何)を対象として	過去1年間介護保険給付のサービスを利用することなく(7日以内のショートステイは除く)要介護4相当以上の高齢者を介護している家族						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者及び介護者に慰労金を支給することで介護にかかる精神的・経済的負担を軽減するとともに、家族介護が可能な家庭はできるだけそれを促すことで介護保険給付の軽減を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		家族介護慰労金年12万円支給する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	支給人数	人	2	2	1	2

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.024	0.020	83	0.012	60	0.016	133	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	524,822	499,126	95	463,728	93	469,128	101	
	事業費	240,000	240,000	100	120,000	50	240,000	200	
	合計	764,822	739,126	97	583,728	79	709,128	121	
財源内訳	国庫支出金	93,600	93,600	100	46,800	50	92,400	197	
	県支出金	46,800	46,800	100	23,400	50	46,200	197	
	市債			-		-		-	
	その他	52,800	52,800	100	26,400	50	55,200	209	
	一般財源	571,622	545,926	96	487,128	89	515,328	106	
合計	764,822	739,126	97	583,728	79	709,128	121		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人数							
指標説明(式)		支給人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	1	50.0	2	200.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	1	50.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

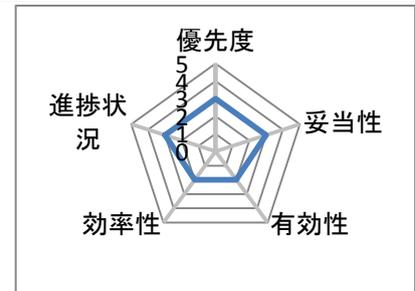
指標名1		人数あたりの事業コスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)÷支給人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	352,137	593,606	168.6	332897	56.1	354564	106.5	
	実績	382,411	369563	96.6	583728	158.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	在宅生活の支えとなるほどの補助額を出せるわけでは無く、施設整備・保険料の抑制にまで効果があるかは判断が難しい。	2
	成果の向上	支給実績の向上を図る必要がある反面、慰労金を得るために必要な介護が疎かにならないよう配慮する必要がある。	
効率性	手段の最適性	家族介護を促進するために、介護保険サービスを利用しなかった期間(1年間)と医療機関への入院期間を勘案しているが、要介護4以上の者が1年間介護サービスを使わないケースはまれである。	2
	負担割合の適正化	介護保険給付外の医療系サービス利用者は制度上対象者となるが、家族介護への慰労という主旨から介護系デイサービス利用者等との公平性について検討の必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	効率性について検討が困難である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	制度利用者が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	更なる制度の周知を図る。

配点	32.5
総合評価	17.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010900	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	成年後見制度利用支援事業	予算事業名	成年後見制度利用支援事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	尾川 真紀
実施計画事業名				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市成年後見制度利用支援事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない方			
	誰(何)を対象として	法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない方			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市長が審判の請求を家庭裁判所に行うとともに、成年後見人等に対する報酬の全部または一部を助成することにより、被成年後見人等の生活を支援する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない場合に、市長が審判の請求を家庭裁判所に行うとともに、成年後見人等に対する報酬の全部または一部を助成することにより、被成年後見人等の生活を支援する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	市長申立件数	件	0	0	0	3

3 投入資源

インプット指標		会計区分 介護保険特別会計			事業費単位:円				
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.036	0.112	311	0.052	46	0.040	77	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	614,606	1,192,346	194	772,448	65	659,832	85	
	事業費	216,000	0	0	15,715	-	1,018,000	6,478	
	合計	830,606	1,192,346	144	788,163	66	1,677,832	213	
財源内訳	国庫支出金	84,240		0	6,129	-	391,930	6,395	
	県支出金	42,120		0	3,064	-	195,965	6,396	
	市債			-		-		-	
	その他	47,520		0	3,457	-	234,140	6,773	
	一般財源	656,726	1,192,346	182	775,513	65	855,797	110	
合計	830,606	1,192,346	144	788,163	66	1,677,832	213		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市長申立件数							
指標説明(式)		市長申立件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	4	133.3	3	75.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		成年後見制度利用人数							
指標説明(式)		成年後見制度利用人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	1	0	0.0	0	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

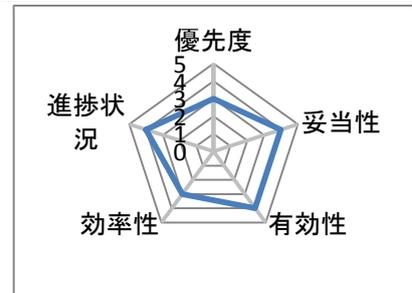
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	報酬の全部または一部の助成を受けなければ後見等の利用が困難な者を保護する事もできる事業であり、必要である。	4
効率性	手段の最適性	助成の対象者の状況をよく把握し、制度の利用について検討する必要がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民へ制度の周知を行いながら、後見等の相談等に対応。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	広域化に伴い、効率的な事務を目指す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	西播磨4市3町共同で西播磨成年後見支援センターの周知に努め、後見制度のさらなる普及を図る。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302011000		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	介護給付費等費用適正化事業		予算事業名	介護給付費等費用適正化事業 優先度 4	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	尾川 真紀
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な介護サービス提供体制の確保と介護サービスの質の向上					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護サービスの利用状況の周知、確認を目的として介護給付費通知を送付する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	給付費通知	回	3	3	3	3	
	ケアプラン点検	回	3	1	0	5	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.124	0.164	132	0.140	85	0.202	144	
	臨時職員			-		-	1.449	-	
支出内訳	人件費	1,273,022	1,584,166	124	1,451,632	92	6,065,142	418	
	事業費	395,983	424,620	107	551,406	130	4,818,000	874	
	合計	1,669,005	2,008,786	120	2,003,038	100	10,883,142	543	
財源内訳	国庫支出金	154,433	165,601	107	215,048	130	1,854,930	863	
	県支出金	77,216	82,800	107	107,524	130	927,465	863	
	市債			-		-		-	
	その他	87,116	118,894	136	121,309	102	1,108,140	913	
	一般財源	1,350,240	1,641,491	122	1,559,157	95	6,992,607	448	
合計	1,669,005	2,008,786	120	2,003,038	100	10,883,142	543		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付費通知1件当たりに対する給付費総額							
指標説明(式)		給付費総額/給付費通知発送料							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	8794	8278	94.1	7738	93.5	7565	97.8	
	実績	8444	12095	143.2	7748	64.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

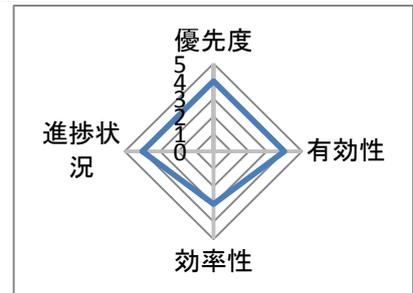
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	自立支援型ケア介護において、ケアプランの内容も確認することにより、必要な人が必要なサービスを受けられるよう「自立支援」への意識を高め、ケアマネジメントの質の向上を図る。	4
	市民サービス	通知を送付することによって、実際の給付費がどれだけかかっているのかを確認してもらえ、給付費の抑制を促すことにつながっている。	
効率性	手段の最適性	介護保険制度について、実際に介護給付を受けている全ての対象者に対し通知を送付することで、制度の周知ができています。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	給付費通知は定期的を送っているが、介護給費の適正化にまでは至っていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	定期的を送付している給付費通知に、適正化を促すチラシや制度案内等を同封する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020100	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	しあわせ基金事業	予算事業名	しあわせ基金事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史 担当者名 杉本 裕美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市しあわせ基金条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者の福祉の向上			
	誰(何)を対象として	社会福祉協議会、ボランティア団体、高年クラブ連合会			
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会福祉協議会、ボランティア団体、高年クラブ連合会の高齢者在宅福祉の向上事業に対して補助金を交付する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会福祉協議会、ボランティア協会及び高年クラブ連合会の実施する高齢者等送迎サービス、在宅介護者の会への支援事業等、在宅高齢者への支援事業に補助金を交付する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	リフトバス派遣回数	回	613	532	565	600
	在宅介護者支援事業実施回数	回	23	22	22	22

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.072	0.072	100	0.096	133	0.112	117	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	883,958	890,946	101	1,112,040	125	1,231,944	111	
	事業費	1,462,000	1,438,000	98	1,356,000	94	1,909,000	141	
	合計	2,345,958	2,328,946	99	2,468,040	106	3,140,944	127	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,462,000	1,438,000	98	1,356,000	94	1,909,000	141	
	一般財源	883,958	890,946	101	1,112,040	125	1,231,944	111	
合計	2,345,958	2,328,946	99	2,468,040	106	3,140,944	127		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		活動実績							
指標説明(式)		リフトバス派遣回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	700	700	100.0	600	85.7	600	100.0	
	実績	613	532	86.8	565	106.2			
指標名2		活動実績							
指標説明(式)		在宅介護者支援事業回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	22	22	100.0	22	100.0	22	100.0	
	実績	23	22	95.7	22	100.0			

【効率性】

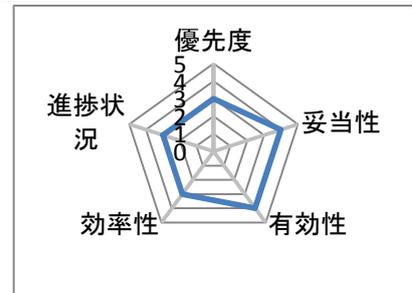
指標名1		活動実績の1件当たり補助金コスト(リフトバス)							
指標説明(式)		支出事業費÷リフトバス派遣回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1000	857	85.7	1800	210.0	2394	133.0	
	実績	856	1835	214.4	1258	68.6			
指標名2		活動実績の1件当たり補助金コスト(在宅介護者支援事業)							
指標説明(式)		支出事業費÷在宅介護者支援事業							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10750	6272	58.3	8500	135.5	7954	93.6	
	実績	7696	8371	108.8	8895	106.3			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	平成29年度は、社協に対し、前年度同様の補助を行ったが、社会情勢等の変化に伴い市民ニーズも変化するため、適宜事業内容の見直しを図る必要がある。	4
効率性	手段の最適性	基金の運用益が事業費の一部にあてられている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	社会情勢、市民ニーズ等を把握し、補助団体と連携を図り、有効な事業の展開が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	社会福祉協議会の送迎車両の老朽化に伴い、安全な事業の実施のため車両購入の補助を決定。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020400		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	老人医療費助成事業		予算事業名	老人医療費助成事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	佐原正樹	担当者名	木下卓巳
取組み事項		介護予防などを推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		高齢期移行助成事業						
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上69歳以下の老人(高齢期移行者)医療費助成対象者						
	誰(何)を対象として	65歳以上69歳以下の老人(高齢期移行者)医療費助成対象者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	対象者の健やかで安心した生活を維持する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		65歳以上69歳以下の者で、一定の要件を満たす場合、医療費の一部を助成する				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	助成費	円	20806245	18805557	15715900	19000000
	助成件数	件	6850	7599	7513	7620
	平均受給者数	人	418	470	445	460

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.262	0.369	141	0.306	83	0.300	98	
	臨時職員	0.018	0.041	228	0.034	83	0.032	94	
支出内訳	人件費	2,350,880	3,235,728	138	2,822,376	87	2,816,736	100	
	事業費	20,806,245	18,805,557	90	15,715,900	84	19,000,000	121	
	合計	23,157,125	22,041,285	95	18,538,276	84	21,816,736	118	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	6,074,266	5,270,914	87	3,451,006	65	5,000,000	145	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	17,082,859	16,770,371	98	15,087,270	90	16,816,736	111	
合計	23,157,125	22,041,285	95	18,538,276	84	21,816,736	118		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの老人医療費助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	48,000	53000	110.4	46154	87.1	41304	89.5	
	実績	49776	40012	80.4	35317	88.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

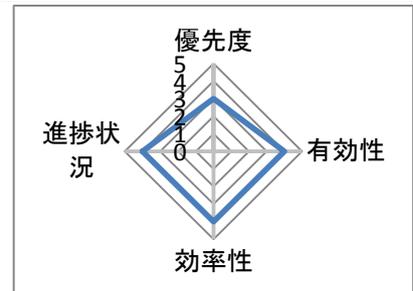
指標名1		老人医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	437	401	91.8	417	104.0	370	88.7	
	実績	343	426	124.2	376	88.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	65歳以上69歳以下の者で、特別な配慮が必要な者の医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ることができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	ほぼ横ばいである。	4
	執行体制の効率性	年齢到達で該当する者等に対して、申請案内をするなど迅速、適正な事務処理を行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	65歳以上69歳以下の者で、特別な配慮が必要な者に対して、区分に応じて福祉医療費を支給している。(老人医療費助成事業は経過措置を設けて平成29年6月末で廃止、平成29年7月から高齢期移行者医療費助成事業を新設。)	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	現下の情勢、財政事情を踏まえつつ、事業を継続する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	現下の情勢、財政事情を踏まえつつ、事業を継続する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020500	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	鍼灸マッサージ施療費助成事業	予算事業名	鍼灸マッサージ施療費助成事業 優先度
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課	
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	佐原正樹	担当者名
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	老人鍼灸・マッサージ等施療費助成規則				
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の住民			
	誰(何)を対象として	65歳以上の鍼灸・マッサージ等施療利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	鍼灸・マッサージ等施療費の一部を助成することにより、健康を保ち、健やかに暮らす			

2 事業の概要 Do

実施の概要	65歳以上の鍼灸マッサージ施療利用者に施療費の一部を助成					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	助成費	円	2795000	2517000	1886000	3000000
	助成回数	回	2795	2517	1886	3000
	申請者数	人	483	469	387	600
	対象者数	人	10261	10343	10390	10390

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.041	0.043	105	0.038	88	0.038	100	
	臨時職員	0.009	0.005	56	0.050	1,000	0.048	96	
支出内訳	人件費	674,687	685,466	102	796,096	116	780,356	98	
	事業費	2,795,000	2,517,000	90	1,886,000	75	3,000,000	159	
	合計	3,469,687	3,202,466	92	2,682,096	84	3,780,356	141	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,469,687	3,202,466	92	2,682,096	84	3,780,356	141	
合計	3,469,687	3,202,466	92	2,682,096	84	3,780,356	141		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの鍼灸・マッサージ施療助成回数							
指標説明(式)		助成回数/申請者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6.1	6.1	100.0	5.6	91.8	5	89.3	
	実績	5.8	5.4	93.1	4.9	90.7			
指標名2		対象者にかかる申請率							
指標説明(式)		申請者数/対象者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	5.9	5.8	98.3	5.8	100.0	5.8	100.0	
	実績	4.7	4.5	95.7	3.7	82.2			

【効率性】

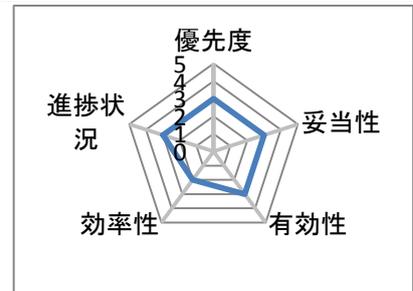
指標名1		鍼灸・マッサージ施療助成1回当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)/回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,153	1183	102.6	1219	103.0	1260	103.4	
	実績	1241	1272	102.5	1422	111.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申請者1人当りの利用回数を満たす利用券を交付しており、適正な助成を行った。	3
	市民サービス	施療費を助成することにより、経済的負担を軽減することができた。	
効率性	コストの節減	申請者1人当りの利用回数が減少しているため、1回当りコストが上昇した。	2
	手段の最適性	申請時に資格確認を行い、利用者の資格を適正に把握している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	第3期行財政健全化計画に基づいた年齢要件の引き上げ、その周知を行うなど、概ね計画通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズ及び事業の担う役割を踏まえつつ、事業を継続する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズ及び事業の担う役割を踏まえつつ、事業を継続する。

配点	32.5
総合評価	18.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020600	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	高齢重度障害者医療費助成事業	予算事業名	高齢重度障害者医療費助成事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	佐原正樹
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	木下卓巳
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規		高齢重度障害者医療費助成要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢重度障害者医療費助成対象者			
	誰(何)を対象として	高齢重度障害者医療費助成対象者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす			

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢かつ重度の障害があると認定された者に対し、医療費の一部を高齢重度障害者医療費として助成する				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	助成費	円	27952238	28602005	26463734	26000000
	助成件数	件	7086	7427	7317	6810
	平均受給者数	人	312	313	300	290

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.185	0.371	201	0.361	97	0.354	98	
	臨時職員	0.013	0.039	300	0.038	97	0.036	95	
支出内訳	人件費	1,762,171	3,245,584	184	3,257,402	100	3,257,188	100	
	事業費	27,952,238	28,602,005	102	26,463,734	93	26,000,000	98	
	合計	29,714,409	31,847,589	107	29,721,136	93	29,257,188	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	11,660,618	11,646,593	100	10,673,118	92	10,900,000	102	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	18,053,791	20,200,996	112	19,048,018	94	18,357,188	96	
合計	29,714,409	31,847,589	107	29,721,136	93	29,257,188	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの高齢重度障害者医療助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	103,385	93957	90.9	93750	99.8	89655	95.6	
	実績	89591	91380	102.0	88212	96.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		高齢重度障害者医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	302	236	78.1	455	192.8	478	105.1	
	実績	249	437	175.5	445	101.8			

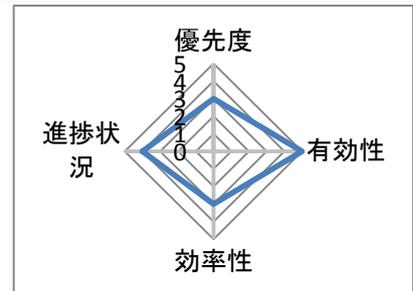
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会的、経済的に弱い立場の高齢重度障害者に対し、適正な医療費助成を行うことにより、目標が達成できた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	ほぼ横ばいである。	3
	執行体制の効率性	事業実施にあたり、迅速、適正な事務処理体制を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	高齢重度障害者の疾病等について医療保険給付が行われた場合において、一部負担金を控除した額を支給している。(所得制限あり。)	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	現下の情勢、財政事情を踏まえつつ、事業を継続する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	現下の情勢、財政事情を踏まえつつ、事業を継続する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020900	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	老人短期入所運営事業	予算事業名	老人短期入所運営事業 優先度
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					無
根拠法規及び関連法規	相生市老人短期入所事業実施要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者			
	誰(何)を対象として	身体的、社会的な理由で一時的に老人ホームでの援護が必要な高齢者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣等の指導及び体調調整を行う			

2 事業の概要 Do

実施の概要	身体的、社会的な理由で一時的に老人ホームでの援護が必要な高齢者に生活習慣等の指導及び体調調整を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	利用人数	人	4	3	2	5
	短期入所日数	日	69	22	7	45

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.140	0.032	23	0.056	175	0.048	86	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,392,734	589,546	42	803,320	136	723,400	90	
	事業費	276,610	110,266	40	43,496	39	213,000	490	
	合計	1,669,344	699,812	42	846,816	121	936,400	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	26,910	14,660	54	5,090	35	29,250	575	
	一般財源	1,642,434	685,152	42	841,726	123	907,150	108	
合計	1,669,344	699,812	42	846,816	121	936,400	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	4	2	50.0	2	100.0			
指標名2		短期入所日数							
指標説明(式)		短期入所日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
日	目標	50	50	100.0	50	100.0	45	90.0	
	実績	69	22	31.9	7	31.8			

【効率性】

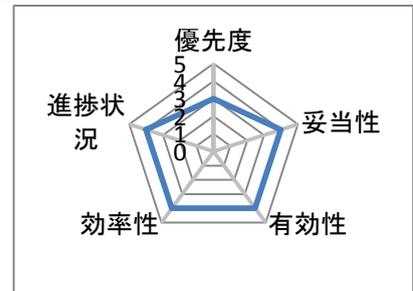
指標名1		1人あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/利用人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40,600	47,000	115.8	47000	100.0	42600	90.6	
	実績	69,152	36755	53.2	21748	59.2			
指標名2		1日当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/短期入所日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,060	4,700	115.8	4700	100.0	4733	100.7	
	実績	4,008	1598	39.9	6213	388.8			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	養護老人ホームの空床を利用してサービス提供する事業で、入所者の入院等例え一時的にせよ空床が生じない限り利用に結びつかない。	4
	成果の向上	虐待等やむを得ない場合の”つなぎ”としても活用できる。	
効率性	手段の最適性	高齢者虐待における世帯分離を図る手段として有効であり、措置者たる市が事業実施する必要がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	養護老人ホームとの連携の必要性。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	虐待案件で緊急で短期入所となる場合もある。養護老人ホームとのより密な連携を図る。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021200		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	高齢者等住宅改造助成事業		予算事業名	高齢者等住宅改造助成事業 優先度	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長		担当者名		
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相州市高齢者等住宅改造助成事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	要介護者及び心身障害者					
	誰(何)を対象として	日常生活を営む上で支障がある高齢者及び心身障害者が居住する住宅					
	意図(どのような状態にしたいのか)	住宅改造により対象者が住み慣れた住宅で安心して自立した生活ができるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		日常生活に支障をきたしている高齢者等の住宅を改造する費用を、世帯の課税状況に応じて、改造対象経費の3/1から10/10の額を助成する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	助成件数	件	18	17	23	28

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.152	0.052	34	0.068	131	0.088	129	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,482,518	740,246	50	895,936	121	1,041,240	116	
	事業費	4,264,000	3,863,942	91	5,314,313	138	6,221,000	117	
	合計	5,746,518	4,604,188	80	6,210,249	135	7,262,240	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	2,132,000	1,925,000	90	2,652,000	138	3,100,000	117	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,614,518	2,679,188	74	3,558,249	133	4,162,240	117	
合計	5,746,518	4,604,188	80	6,210,249	135	7,262,240	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	39	37	94.9	33	89.2	28	84.8	
	実績	18	17	94.4	23	135.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

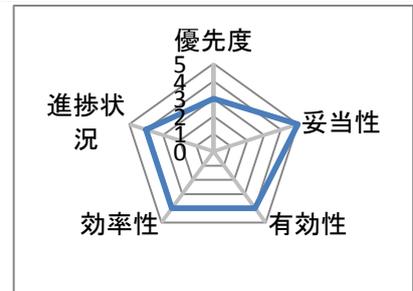
指標名1		件数あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総経費/利用件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	254,706	240,704	94.5	245127	101.8	259366	105.8	
	実績	319,251	270835	84.8	270011	99.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	介護保険の住宅改修(限度額20万円)を超える工事が必要となるケースに支給され、段差解消等規模の大きい工事でも補助をうけることができる。	4
	市民サービス	身体状況に応じたバリアフリー改造を行うことで、在宅での生活を続けられる。	
効率性	コストの節減	工事内容により助成額は変化するが、現地調査時に専門家のアドバイスを受け、不要な工事は抑えられている。	4
	手段の最適性	県の補助制度に則って事業を実施している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	助成額が大きいので、県補助が無くなると実施が困難。31年度に制度改正が予定されており、助成金額の大幅な増加が見込まれる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度改正により、簡易耐震診断の助成が拡大され、手続きが複雑化した。利用者の利便性を考慮し、他課との連携に努める。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021300	事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	高齢者在宅生活支援事業	予算事業名	高齢者在宅生活支援事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	川戸 沙紀	
		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		・相生市訪問理・美容サービス事業実施要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅生活を望む高齢者				
	誰(何)を対象として	65歳以上のみの世帯 ・要介護2相当以上の者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する				

2 事業の概要 Do

実施の概要		年6回を限度に理・美容師に出張整髪してもらうための交通費を補助する				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	延べ利用回数(理・美容)	回	17	17	8	18

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.008	20	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	644,534	649,826	101	679,832	105	405,560	60	
	事業費	246,000	246,000	100	28,000	11	48,000	171	
	合計	890,534	895,826	101	707,832	79	453,560	64	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	890,534	895,826	101	707,832	79	453,560	64	
合計	890,534	895,826	101	707,832	79	453,560	64		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用回数の増減(訪問理・美容サービス)							
指標説明(式)		延べ利用回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	30	24	80.0	18	75.0	18	100.0	
	実績	17	17	100.0	8	47.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

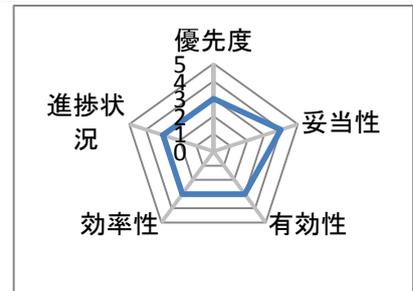
指標名1		1回あたりの事業コスト(訪問理・美容サービス)							
指標説明(式)		事業費+人件費/利用回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	22648	28282	124.9	38611	136.5	25198	65.3	
	実績	39914	41049	102.8	101119	246.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者により利用回数は違うが、一定の数の利用はある。	3
	市民サービス	在宅生活を、支援している家族等の負担軽減、高齢者の心身のリフレッシュを図る上で必要である。	
効率性	手段の最適性	補助金は自宅訪問のための交通費相当額とし、理・美容サービス費は実費負担とすることとしている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	制度利用者が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	更なる制度の周知を図る。

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021400	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	アイアイコール事業	予算事業名	アイアイコール事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史 担当者名 松本 雅弥
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市アイアイコール事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	緊急時に119番通報が困難又は著しく時間のかかる高齢者			
	誰(何)を対象として	緊急性の高い疾病を有する一人暮らし高齢者や、日常生活動作に支障を来している重度身体障害者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	緊急時の生活不安を解消し、安心した在宅生活が送れるようにする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ひとり暮らしの高齢者等に、家庭内で緊急事態が発生した場合、ボタンひとつで受信センターへ連絡ができ、速やかに対象者の援護を図ることができる緊急通報機器の貸与を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	年度末時の設置台数	台	215	190	160	235
	緊急通報回数	回	25	20	15	25

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.092	77	0.132	143	
	臨時職員	0.004	0.004	100		0		-	
支出内訳	人件費	1,253,170	1,263,054	101	1,081,168	86	1,390,864	129	
	事業費	3,644,676	3,538,080	97	3,078,756	87	3,811,000	124	
	合計	4,897,846	4,801,134	98	4,159,924	87	5,201,864	125	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-	3,078,756	-	3,811,000	124	
	一般財源	4,897,846	4,801,134	98	1,081,168	23	1,390,864	129	
合計	4,897,846	4,801,134	98	4,159,924	87	5,201,864	125		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		設置台数(年度末時)							
指標説明(式)		設置台数(年度末時)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
台	目標	244	245	100.4	234	95.5	235	100.4	
	実績	215	190	88.4	160	84.2			
指標名2		緊急通報回数							
指標説明(式)		緊急通報回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	40	30	75.0	25	83.3	25	100.0	
	実績	25	20	80.0	15	75.0			

【効率性】

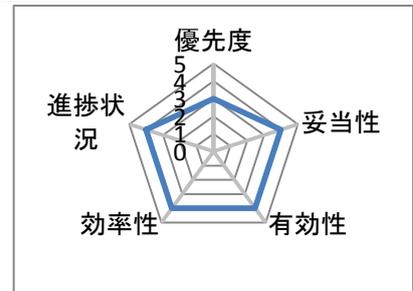
指標名1		利用者1件当たりの事業コスト							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)/設置台数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	17680	18959	107.2	17850	94.2	16217	90.9	
	実績	16952	18621	109.8	19242	103.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、援護を必要とする利用者にとっては、在宅支援の観点から有効的なサービスとなっている。	4
効率性	負担割合の適正化	市民税課税世帯には、設置費用の自己負担あり。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	必要な方にサービスが提供できるよう更なる周知を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	真にサービスが必要な利用者が漏れていないか対象者の把握に努める。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021500		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	お元気コール事業		予算事業名	お元気コール事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史		担当者名 松本 雅弥
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	75歳以上の一人暮らし高齢者					
	誰(何)を対象として	安否の確認を希望する75歳以上の一人暮らし高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	定期的な電話を用いた安否確認により、一人暮らし生活の安心を得る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		週1回、ひとり暮らしの高齢者宅に委託業者のオペレーターが電話をし、対象者の安否確認を図る。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	利用人数	人	60	54	45	45

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.080	0.072	90	0.084	117	0.180	214	
	臨時職員	0.004	0.004	100		0		-	
支出内訳	人件費	953,890	901,374	94	1,019,424	113	1,772,272	174	
	事業費	651,234	685,785	105	647,046	94	817,000	126	
	合計	1,605,124	1,587,159	99	1,666,470	105	2,589,272	155	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-	647,046	-	817,000	126	
	一般財源	1,605,124	1,587,159	99	1,019,424	64	1,772,272	174	
合計	1,605,124	1,587,159	99	1,666,470	105	2,589,272	155		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規利用申込者							
指標説明(式)		新規利用申込者							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	10	10	100.0	5	50.0	0	0.0	
	実績	9	6	66.7	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

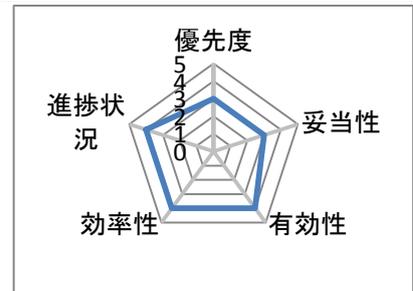
指標名1		利用者一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)／利用者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	12571	12573	100.0	12567	100.0	12500	99.5	
	実績	10854	12700	117.0	14378	113.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	電話回線が有ればサービスが利用できるため、効率的で簡単に利用できる。	4
	成果の向上	事業の周知を図り、より多くの高齢者の方が安心して在宅生活を送れるようにする必要がある。	
効率性	手段の最適性	週1回で多数の利用者安否確認ができ、電話回線を活用する事が効率的である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね必要な方に浸透しており計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	高年クラブを委託先とする移行を一部実施。担当利用者は6人と少人数であることから委託方法の適正について検討していきたい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	真にサービスが必要な利用者が漏れていないか、対象者の把握に努める。

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021600		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	ひとり暮らし老人名簿事業		予算事業名		
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	富田 智美	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市・民生委員					
	誰(何)を対象として	65歳以上の一人暮らし高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	実態調査により65歳以上の一人暮らし高齢者名簿を作成する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		民生委員の協力の下、年2回定期的に現地調査を行い、対象者情報のほか緊急時の連絡先を聴き取り調査し、ひとり暮らしの高齢者名簿を作成する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	ひとり暮らし高齢者数(年度末)	人	1552	1621	1647	1650	

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.124	0.144	116	0.108	75	0.172	159	
	臨時職員	0.008	0.008	100		0		-	
支出内訳	人件費	1,293,174	1,454,322	112	1,204,656	83	1,708,704	142	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,293,174	1,454,322	112	1,204,656	83	1,708,704	142	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,293,174	1,454,322	112	1,204,656	83	1,708,704	142	
	合計	1,293,174	1,454,322	112	1,204,656	83	1,708,704	142	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ひとり暮らし高齢者数(年度末)							
指標説明(式)		ひとり暮らし高齢者数(年度末)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1600	1560	97.5	1630	104.5	1650	101.2	
	実績	1552	1621	104.4	1647	101.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

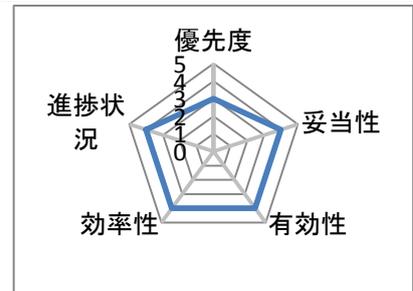
指標名1		名簿一人当たりの作成にかかる経費							
指標説明(式)		人件費／一人暮らし高齢者数(年度末)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	788	922	117.0	726	78.7	1035	142.6	
	実績	833	897	107.7	731	81.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	民生児童委員の協力による戸別訪問調査のため、名簿の正確性は高く、事業目的の達成度は高い。	4
	市民サービス	安否確認はじめ必要な方へ必要なサービスを行うことができ、市民サービスの向上に役立っている。	
効率性	コストの節減	民生児童委員の個別訪問によって作成しているため、事務的経費としてのコストは発生しない。	4
	手段の最適性	地域を知る民生児童委員の戸別訪問調査によって作成しているため、名簿の正確性は高く、最適の手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	民生児童委員の訪問を拒否される高齢者もあり、すべてのひとり暮らし高齢者の把握をすることは困難。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	地域とのつながりを拒否される場合は、在宅介護支援センターや社会福祉協議会等の専門職による訪問を依頼し、信頼関係を築けるよう努める。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021800		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	老人保護措置事業		予算事業名	老人保護措置事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	杉本 裕美	
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		老人福祉法、相生市老人ホーム入所措置等規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	老人ホームへの入所が必要な者						
	誰(何)を対象として	おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により居宅において生活するのが困難な者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	心身の健康の保持及び生活の安定						

2 事業の概要 Do

実施の概要		おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により居宅において生活するのが困難な者を措置し、生活の安定を図る				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	年度末入所者数	人	42	38	40	40
	虐待対応に伴う措置入所者数	人	2	0	2	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.380	0.240	63	0.188	78	0.192	102	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,188,414	2,156,826	68	1,822,096	84	1,867,624	102	
	事業費	74,970,547	79,377,695	106	80,235,033	101	89,604,000	112	
	合計	78,158,961	81,534,521	104	82,057,129	101	91,471,624	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	15,175,823	16,093,759	106	13,710,002	85	14,216,400	104	
	一般財源	62,983,138	65,440,762	104	68,347,127	104	77,255,224	113	
合計	78,158,961	81,534,521	104	82,057,129	101	91,471,624	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		入所人数							
指標説明(式)		入所人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	38	41	107.9	45	109.8	40	88.9	
	実績	42	38	90.5	40	105.3			
指標名2		虐待対応に伴う措置入所者数							
指標説明(式)		虐待対応に伴う措置入所者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	2	0	0.0	2	-			

【効率性】

指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/(入所人数)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	1984615	1982268	99.9	2048644	103.3	2240100	109.3	
	実績	1785013	2088886	117.0	2005875	96.0			

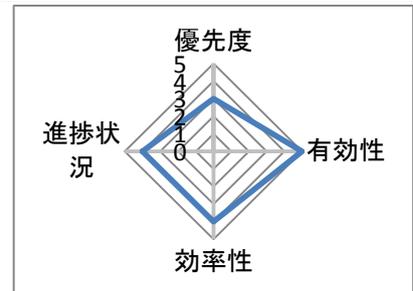
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	居宅において生活するのが困難な者を保護する事業で、セーフティーネットとして必要。	5
	関係(根拠)法令から見た効果	居宅において生活するのが困難な者を措置し、心身の健康回復、生活の安定を図ることで、老人福祉法の保護措置の実現を図っている。	
効率性	手段の最適性	法第11条及び国県の技術的助言等により、適切な措置を行っている。	4
	執行体制の効率性	施設の空き情報を適宜把握するとともに、包括支援センターと連携し、対象者の発見と速やかな保護措置ができる体制づくりを図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	入所申込者増により、待機中の入所希望者の生活の相談。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	関係機関、ケアマネジャー等との協力関係を一層強化し、円滑に在宅から入所へつなぐことが出来るように取り組む。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021900		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	老人福祉施設等利用者負担額減免措置事業		予算事業名	老人福祉施設等利用者負担額減免措置事業	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	古川 由紀
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法、社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業実施要綱、社会福祉法人等による生活困窮者に対する介護保健サービスに係る利用者負担額減免措置事業補助金					
事業の目的	誰のために(具体的に)	社会福祉法人等が提供する介護保険の施設サービス等(特別養護老人ホーム・デイサービス・ショートステイ・ホームヘルプ)を利用している者の内、低所得で生計困難な者					
	誰(何)を対象として	生計困難な低所得者を対象に利用者負担額の軽減を実施している社会福祉法人等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者負担額軽減実施の社会福祉法人等への助成により、施設サービス等を利用する高齢者の生活の安定と必要とする介護サービスの適正な実施を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者へ利用者負担軽減確認証を交付し、それを基に社会福祉法人が行った介護サービス費減額に対する補助金交付を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	減額認定証交付件数	人	3	3	3	3
	減額認定証利用件数	人	2	2	3	3
	施設への補助金額	円	36443	0	58878	262000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.020	0.040	200	0.076	190	0.056	74	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	494,894	649,826	131	957,680	147	786,968	82	
	事業費	36,443	0	0	58,878	-	262,000	445	
	合計	531,337	649,826	122	1,016,558	156	1,048,968	103	
財源内訳	国庫支出金			-	43,000	-	196,000	456	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	531,337	649,826	122	973,558	150	852,968	88	
合計	531,337	649,826	122	1,016,558	156	1,048,968	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たり減免総額							
指標説明(式)		減免総額/減免認定利用者件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	131000	131000	100.0	131000	100.0	131000	100.0	
	実績	18222	98720	541.8	66785	67.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

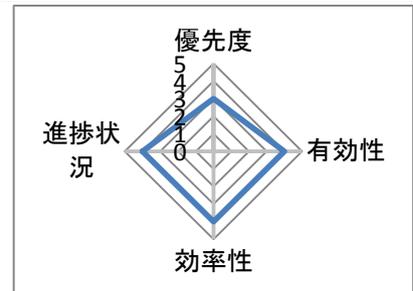
指標名1		一人当たり事業経費							
指標説明(式)		事業費÷減額認定証交付件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	131000	131000	100.0	131000	100.0	87333	66.7	
	実績	12148	0	0.0	19626	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業の実施により、低所得者が介護保険サービスを利用しやすい環境づくりに有効である。	4
	成果目標(改善)達成度	負担軽減によって低所得者の施設入所等が行いやすくなるよう事業を実施しているが、利用者実績は低い。	
効率性	負担割合の適正化	県の補助制度に則り実施しており、市の補助額の3/4相当額について県の補助金がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成29年度は3名の方に対し軽減が図られた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	公共性	社会福祉法人の積極的な制度への貢献体制が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	市内の社会福祉法人及びケアマネジャーへの更なる制度の周知に努める。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022000		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	救急医療情報キット配付事業		予算事業名	優先度 4	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	杉本 裕美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市救急医療情報キット配付事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	健康上不安を有する者					
	誰(何)を対象として	①65歳以上の者②障害者手帳を所持する者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	救急搬送時に役立つ情報(既往症・服用している薬剤情報・血液型・かかりつけ医・親族等の連絡先)を入れたキットを保管し、もしものときの安全・安心を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		救急時に速やかな救急処置を図ることが出来るよう救急隊員及び搬送先病院に医療情報を伝えるためのキットを配付する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	配付件数	件	93	64	125	100	

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員		0.008	-	0.008	100	0.004	50	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	345,254	408,706	118	432,856	106	373,776	86	
	事業費			-		-		-	
	合計	345,254	408,706	118	432,856	106	373,776	86	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	345,254	408,706	118	432,856	106	373,776	86	
合計	345,254	408,706	118	432,856	106	373,776	86		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		配布件数							
指標説明(式)		配布件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	80	100	125.0	80	80.0	100	125.0	
	実績	93	64	68.8	125	195.3			
指標名2		救急搬送時のキットの活用回数							
指標説明(式)		救急搬送時のキットの活用回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	5	5	100.0	3	60.0			

【効率性】

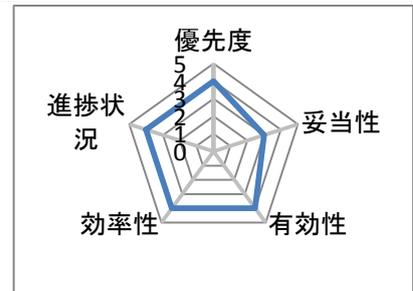
指標名1		救急医療情報キットの配布率							
指標説明(式)		配布件数の累計/4500(作成数)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	43.0	45.6	106.0	46.6	102.2	49.8	106.9	
	実績	43.3	44.8	103.5	47.6	106.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	救急搬送の際、キットを活用した事例があり、高齢者の健康維持に役立っている。	4
	成果の向上	サービス内容が浸透したため、利用者が増加した。	
効率性	コストの節減	キットは数年間分をまとめて作成することで、単価の軽減を図っている。	4
	手段の最適性	キット一個当たりの経費は少なく、少ない経費で大きな安心安全の効果を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りにいっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	対象者を拡大したことを、周知啓発してより広くキットを活用してもらう。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	広報掲載や民生児童委員の協力により利用者増となったが、さらなる拡大を目指す。

配点	32.5
総合評価	24.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022100		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	高齢者保健福祉計画等策定に関すること		予算事業名	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	富田 智美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	職員・市民					
	誰(何)を対象として	職員・市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の高齢者保健福祉に関する計画を策定し、高齢者保健福祉施策の充実を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者保健福祉に関する計画を3年ごとに策定し、施策の充実を図る。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	計画策定	件	0	0	1	0

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.180	750	0.180	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	524,822	529,266	101	1,760,352	333	1,772,272	101	
	事業費			-		-		-	
	合計	524,822	529,266	101	1,760,352	333	1,772,272	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	524,822	529,266	101	1,760,352	333	1,772,272	101	
合計	524,822	529,266	101	1,760,352	333	1,772,272	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		数値での評価困難							
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

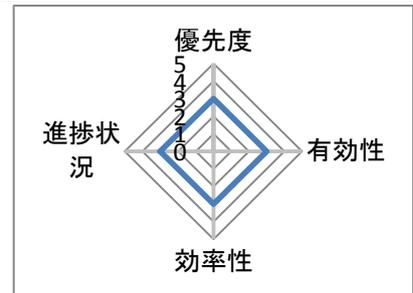
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	老人福祉法に基づく必要な計画策定となっている。	3
効率性	執行体制の効率性	平成29年度に高齢者保健福祉計画を策定した。平成30年度から平成32年度までの事業を計画に基づき遂行している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	計画の進捗状況を明確にする必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	計画の重点事項(介護予防重度化防止、医療介護連携、介護給付費適正化等)を関係機関で共通認識で取り組む。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022700	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	健康大学講座事業	予算事業名	健康大学講座事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	清水 直子
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	井上 勇治
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領			
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者			
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康に関する意識の高揚を図り、要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者を対象に医学の専門医を講師に招き、健康(介護予防を含む)に関する講座を相生市医師会と共催で開催。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	回数	回	10	10	10	10
	人数	人	2118	2300	2028	2300

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.068	0.060	88	0.080	133	0.080	100	
	臨時職員	0.020	0.040	200	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	904,410	904,806	100	1,093,912	121	1,091,352	100	
	事業費	400,000	400,000	100	400,000	100	400,000	100	
	合計	1,304,410	1,304,806	100	1,493,912	114	1,491,352	100	
財源内訳	国庫支出金	100,000	100,000	100	100,000	100	100,000	100	
	県支出金	50,000	50,000	100	50,000	100	50,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,154,410	1,154,806	100	1,343,912	116	1,341,352	100	
合計	1,304,410	1,304,806	100	1,493,912	114	1,491,352	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ参加者の増減							
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1700	2000	117.6	2300	115.0	2300	100.0	
	実績	2118	2300	108.6	2028	88.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

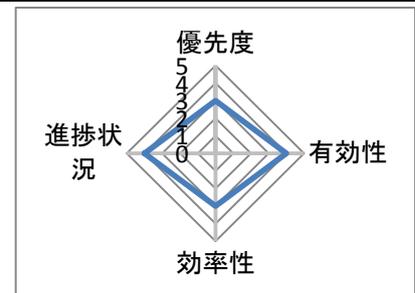
指標名1		1人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費／参加者							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	767	630	82.1	544	86.3	648	119.1	
	実績	615	567	92.2	737	130.0			
指標名2		事業費の負担単価							
指標説明(式)		100,000円／回							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	100000	100000	100.0	100000	100.0			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市文化会館大ホールにて、10回開催した。	4
	市民サービス	健康に関する関心は高く、特に高齢者のニーズは高いと考えている。	
効率性	手段の最適性	講師の都合により木曜日の午後に、相生市文化会館中ホールにて、開催した。	3
	コストの節減	相生市医師会と共催で開催。収容人員も充分にある相生市文化会館大ホールにて開催した。市の負担割合4回分相当額を負担。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定した10回の健康大学講座が開催できた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	参加者数に見合った会場選択。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	受講者増に対応し、30年度開催で利用する相生市文化会館大ホールの継続利用。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023200		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	配食サービス事業		予算事業名	配食サービス事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史		担当者名 杉本 裕美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市配食サービス事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	弁当の宅配と安否確認を必要とする高齢者					
	誰(何)を対象として	市民税非課税世帯に属する食事の準備がしにくい65歳以上の者及び重度障害者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	栄養バランスのとれた食生活が営めるように					

2 事業の概要 Do

実施の概要		見守りと栄養改善を目的に、委託業者による食事の宅配を行うとともに、対象者に対し、月20食を限度に1食あたり200円の助成券を支給する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	延べ利用食数	食	24941	25673	23235	28575	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.132	0.142	108	0.208	146	0.144	69	
	臨時職員	0.040	0.004	10		0		-	
支出内訳	人件費	1,433,638	1,428,824	100	1,976,456	138	1,486,216	75	
	事業費	5,331,752	5,247,298	98	4,772,680	91	5,850,000	123	
	合計	6,765,390	6,676,122	99	6,749,136	101	7,336,216	109	
財源内訳	国庫支出金	2,079,383	2,046,446	98	1,861,345	91	2,252,250	121	
	県支出金	666,469	1,023,223	154	930,672	91	1,126,125	121	
	市債			-		-		-	
	その他	1,172,985	1,154,406	98	1,049,989	91	1,345,500	128	
	一般財源	2,846,553	2,452,047	86	2,907,130	119	2,612,341	90	
合計	6,765,390	6,676,122	99	6,749,136	101	7,336,216	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用食数							
指標説明(式)		延べ利用食数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
食	目標	30,625	28,704	93.7	28704	100.0	28575	99.6	
	実績	24,941	25673	102.9	23235	90.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

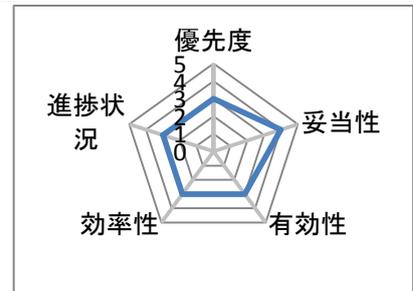
指標名1		利用1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費／延べ利用回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	254.7	260.5	102.3	252.2	96.8	256.7	101.8	
	実績	271.3	260.0	95.8	290.5	111.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	在宅生活が維持されることによって、住み慣れた地域での高齢者の生活継続が、当市にとって施設整備を抑制し保険料の軽減が図られる。	3
効率性	手段の最適性	親族による家事援助等を促すため、月20食を限度にサービスを提供しているが、手助けが得られない場合を考慮すると、月20食の限度の見直しの検討は必要。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	配食事業者の減少。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	配食事業者の増により利用者の食の選択肢を広げる。

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023300	事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	認知症高齢者サポート事業	予算事業名	認知症高齢者サポート事業 優先度	3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	尾川 真紀
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		「認知症サポーター等養成事業の実施について」(平成18年7月12日老計発第0712001号厚生労働省)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症を患った方及びその家族					
	誰(何)を対象として	市民及び市内事業所・学校に通勤されている方					
	意図(どのような状態にしたいのか)	身近な地域で認知症の方を発見しケアできる社会環境を整備し、認知症を患っても本人および家族が安心して生活できるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		キャラバンメイト養成研修を受講した講師により、地域住民・職場・学校・団体等を対象に認知症サポーター養成講座を開催する。また、フォローアップ講座を年1回開催する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	認サポ開催回数	回	24	18	19	30	
	認サポ延べ受講者数	人	707	558	657	700	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.220	0.260	118	0.232	89	0.252	109	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,991,294	2,307,526	116	2,161,688	94	2,344,384	108	
	事業費	151,060	294,125	195	133,790	45	440,000	329	
	合計	2,142,354	2,601,651	121	2,295,478	88	2,784,384	121	
財源内訳	国庫支出金	58,913	114,708	195	52,178	45	169,400	325	
	県支出金	29,456	57,354	195	26,089	45	84,700	325	
	市債			-		-		-	
	その他	33,233	64,707	195	29,433	45	101,200	344	
	一般財源	2,020,752	2,364,882	117	2,187,778	93	2,429,084	111	
合計	2,142,354	2,601,651	121	2,295,478	88	2,784,384	121		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		開催回数の増減							
指標説明(式)		認知症サポーター養成研修開催回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	12	20	166.7	20	100.0	30	150.0	
	実績	24	18	75.0	19	105.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

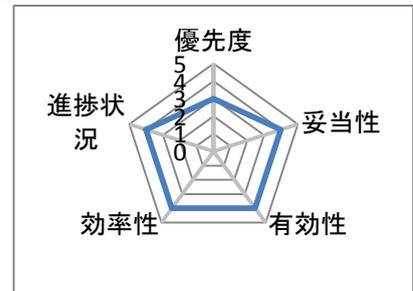
指標名1		受講者数の増減							
指標説明(式)		延べ受講者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	500	500	100.0	500	100.0	700	140.0	
	実績	707	558	78.9	657	117.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	認知症についての正しい知識を普及するとともに、サポーターが増える事で認知症の方やその家族の暮らしやすい環境が整備できる。	4
効率性	コストの節減	講師を務めるキャラバンメイトは無報酬であり、低コストで認知症サポーターの養成ができています。	4
	執行体制の効率性	講師役をつとめるキャラバン・メイトについても、近隣や県の研修に受講案内し、メイトの数も増えている。認知症サポーター養成と合わせキャラバンメイトの養成は不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	受講者数は当初の目標値を達成した。今後は、サポーターのレベルアップと活動の場を紹介していく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	キャラバン・メイトの役割分担について、連絡会で深める必要がある。また、さらなるスキルアップに向けて研修を実施する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023400		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	後期高齢者医療保険事業		予算事業名	後期高齢者医療保険事業ほか 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	佐原正樹 担当者名 木下卓巳		
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名		後期高齢者医療制度整備事業(更新)			後期高齢者医療制度整備事業(保守)		
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律、後期高齢者医療に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	後期高齢者医療制度被保険者					
	誰(何)を対象として	後期高齢者医療制度被保険者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者に適切な医療給付、賦課を行うことにより、持続可能な制度とし、高齢者が健やかで安心した生活を送れるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		後期高齢者医療被保険者の療養諸費、高額療養費、葬祭費等給付の受付、保険料の賦課、納入通知書の送付事業				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	保険料賦課総額	円	343507851	359523747	365837120	385295063
	年度末被保険者数	人	4962	5088	5224	5300
	保険料等負担金	円	427474423	437625236	457569295	484109000

3 投入資源

会計区分 後期高齢者特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	1.740	1.803	104	1.836	102	1.889	103	
	臨時職員	0.118	0.205	174	0.111	54	0.212	191	
支出内訳	人件費	13,661,176	14,468,466	106	14,833,734	103	15,954,490	108	
	事業費	439,017,409	444,224,019	101	465,666,023	105	494,024,000	106	
	合計	452,678,585	458,692,485	101	480,499,757	105	509,978,490	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	61,603,458	65,566,505	106	68,775,607	105	74,712,585	109	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	391,075,127	393,125,980	101	411,724,150	105	435,265,905	106	
合計	452,678,585	458,692,485	101	480,499,757	105	509,978,490	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの保険料賦課額							
指標説明(式)		保険料賦課総額/年度末被保険者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	77,181	73763	95.6	73333	99.4	72697	99.1	
	実績	69228	70661	102.1	70030	99.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

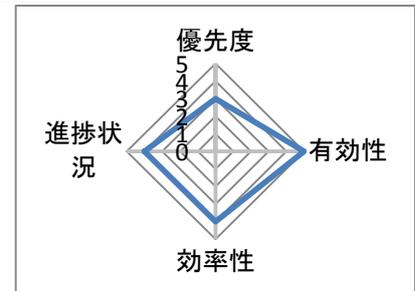
指標名1		後期高齢者医療制度事業1人当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-保険料等負担金)/年度末被保険者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,291	4488	104.6	6223	138.7	4881	78.4	
	実績	5079	4141	81.5	4389	106.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢者の疾病、負傷又は死亡に関する事務、保険料の徴収の事務などを処理し、高齢者の福祉の増進を図ることができた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	システム更新事業に要した費用によりコストが上昇した。	4
	執行体制の効率性	事業実施にあたり、迅速、適正な事務処理体制をとっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	後期高齢者広域連合と連携・協力し、的確な事務処理、被保険者への対応を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	後期高齢者広域連合と連携・協力し、的確な事務処理、被保険者への対応を行う。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023500		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	介護予防推進講座事業		予算事業名	介護予防推進講座事業 優先度		3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	石野 絵梨佳	
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		介護保険法、介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の方(介護保険の要支援・要介護認定者を除く)						
	誰(何)を対象として	65歳以上の方(介護保険の要支援・要介護認定者を除く)						
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護予防活動に関心を持ち、自らも健康の維持増進を実践すると共に、地域において介護予防活動を推進できる人材となる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		運動機能の維持向上、栄養・口腔・認知症等に関する講話を含む講座を1回あたり概ね2時間として実施する。実施回数等は、月1回、5カ月間、全5回とし、市内各地区公民館等6か所にて実施する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	開催回数	回	30	30	15	15	
	実参加者数	人	116	130	80	90	
	延べ参加者数	人	428	450	281	360	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.160	0.160	100	0.080	50	0.060	75	
	臨時職員	0.040	0.042	105	0.020	48		0	
支出内訳	人件費	1,643,134	1,663,520	101	1,041,232	63	818,752	79	
	事業費	568,128	676,378	119	290,477	43	357,000	123	
	合計	2,211,262	2,339,898	106	1,331,709	57	1,175,752	88	
財源内訳	国庫支出金	552,815	584,975	106	332,927	57	293,938	88	
	県支出金	276,408	292,487	106	166,463	57	146,969	88	
	市債			-		-		-	
	その他	1,105,631	1,169,949	106	665,855	57	587,876	88	
	一般財源	276,408	292,487	106	166,464	57	146,969	88	
合計	2,211,262	2,339,898	106	1,331,709	57	1,175,752	88		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数							
指標説明(式)		事業参加者の延べ人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	430	430	100.0	300	69.8	300	100.0	
	実績	428	450	105.1	281	62.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

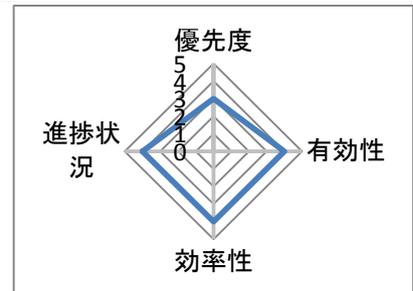
指標名1		教室1回当たりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費÷開催回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	74000	75160	101.6	71583	95.2	78383	109.5	
	実績	73708	77996	105.8	88780	113.8			
指標名2		教室1回当たりの参加者数							
指標説明(式)		延べ参加者数÷開催回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20	15	75.0	20	133.3	20	100.0	
	実績	14	15	107.1	18.7	124.7			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	延べ参加者数は概ね目標達成できた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	介護予防の視点に即した実施内容である。	
効率性	手段の最適性	各地域公民館等での開催とし、身近な地域の方と介護予防について学ぶ機会となっている。	4
	執行体制の効率性	各分野の専門職からの指導体制を整え、全5回講座を一連の流れとなるよう情報交換しつつ取り組んでいる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調にすすんでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	講座終了後に地域において介護予防活動を推進できる人材育成について



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	29年度に引き続き、関係機関によるホフフアリアについての講話を取り入れ、自らの健康の維持増進だけでなく、講座終了後に地域において介護予防活動を推進できる人材を育成することに努める

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023600		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	高齢者見守り事業		予算事業名	高齢者見守り事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	尾川 真紀	
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症を含む高齢者						
	誰(何)を対象として	市民及び市内事業所で勤務されている方						
	意図(どのような状態にしたいのか)	身近な地域で認知症を含む高齢者を地域で見守りし、安心して地域で生活できるようにする						

2 事業の概要 Do

実施の概要		認知症の人を含めた高齢者の事前登録、日頃の見守り、緊急時(捜索)の見守りを目的として「見守りSOSネットワーク」の構築を推進する。また、介護者に対し徘徊高齢者等支援サービス(GPSの初期費用の補助)を実施する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	事前登録者	人	15	19	27	20
	協力機関登録	団体	0	75	1	5
	行方不明者捜索依頼	件	0	0	1	0

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.300	0.412	137	0.310	75	0.288	93	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,589,854	3,452,846	133	2,763,692	80	2,630,440	95	
	事業費	603,469	53,316	9	41,244	77	75,000	182	
	合計	3,193,323	3,506,162	110	2,804,936	80	2,705,440	96	
財源内訳	国庫支出金	235,352	20,793	9	16,085	77	28,875	180	
	県支出金	117,676	10,396	9	8,043	77	14,438	180	
	市債			-		-		-	
	その他	132,763	14,928	11	9,074	61	17,250	190	
	一般財源	2,707,532	3,460,045	128	2,771,734	80	2,644,877	95	
合計	3,193,323	3,506,162	110	2,804,936	80	2,705,440	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事前登録者の増減							
指標説明(式)		あんしん見守り事業(事前登録者)の登録者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	15	20	133.3	20	100.0	20	100.0	
	実績	15	19	126.7	27	142.1			
指標名2		見守りSOSネットワーク協力機関の増減							
指標説明(式)		協力機関登録件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
団体	目標	-	50	-	10	20.0	5	50.0	
	実績	0	75	-	1	1.3			

【効率性】

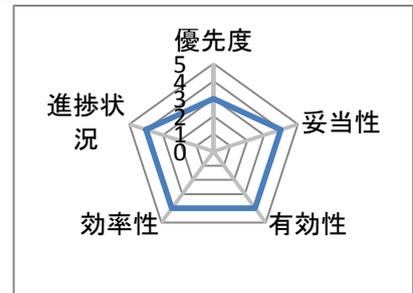
指標名1		事前登録者の割合							
指標説明(式)		事前登録者／高齢者人口							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	—	0.00194	—	0.00194	100.0	0.00192	99.0	
	実績	0.0146	0.00183	12.5	0.00260	142.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	身近な地域で認知症を含む高齢者を地域で見守りし、安心して地域で生活できるようにする。	4
	成果の向上	見守りSOSネットワークの関係機関と協力機関を対象に、情報伝達訓練と連絡会を開催。各機関が事業内容及び役割を再確認できた。地域で見守り声かけ訓練を実施し、SOSネットワークの普及啓発、認知症の人を地域で見守る体制づくりに努めた。	
効率性	コストの節減	事前登録者に配布する「見守りグッズ」は、平成27年予算で一括購入することにより、経費削減を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	実際に協力機関や関係機関に情報発信した時に発見した課題(伝達方法等)を見直し、より最適な方法を検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	地域での見守り体制を構築してもらうために、引き続き、別の地域でも見守り声かけ訓練を実施する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023700		事業の種類	9	
年度	29	事務事業名	総合事業費精算事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	古川 由紀	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規			介護保険法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	住所地特例者					
	誰(何)を対象として	住所地特例者が他市町で総合事業を利用した場合のための清算金					
	意図(どのような状態にしたいのか)	住所地特例者が他市町で総合事業を利用した場合清算するため					

2 事業の概要 Do

実施の概要		住所地特例者が他市町で総合事業を利用した場合の清算金				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	予算額(科目設置)		0	0	0	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員			-	0.020	-		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	345,254	348,426	101	525,472	151	341,992	65	
	事業費	0	0	-		-		-	
	合計	345,254	348,426	101	525,472	151	341,992	65	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	345,254	348,426	101	525,472	151	341,992	65	
合計	345,254	348,426	101	525,472	151	341,992	65		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

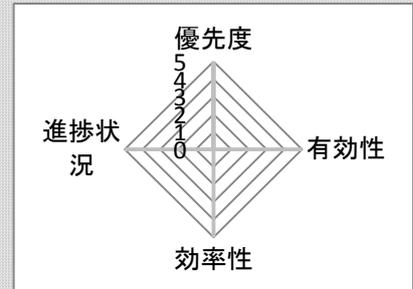
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023800		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	若年者の在宅ターミナルケア支援事業		予算事業名	若年者の在宅ターミナルケア支援事業 優先度 2	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	井上 勇治
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市若年者の在宅ターミナルケア支援事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	20代、30代の若年の末期がん患者					
	誰(何)を対象として	治癒を目的とした治療を行わない20代、30代の若年の末期がん患者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	日常生活を送れるよう、在宅における生活を支援する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		若年者の末期がん患者が、住み慣れた自宅で最後まで自分らしく日常生活を送れるよう、訪問介護、福祉用具貸与等、在宅における生活を支援し、患者及びその家族の負担の軽減を図る。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	助成件数	件			1	2

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.028	-	0.028	100	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	371,112	-	341,992	92	
	事業費			-	16,650	-	648,000	3,892	
	合計			-	387,762	-	989,992	255	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	8,000	-	324,000	4,050	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	379,762	-	665,992	175	
合計			-	387,762	-	989,992	255		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-	3	-	2	66.7	
	実績			-	1	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

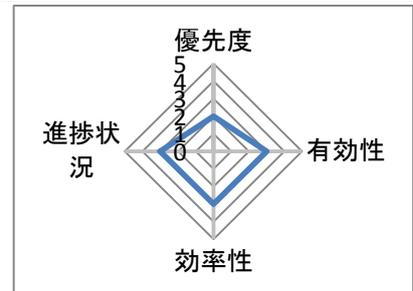
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	サービスにかかる費用が高額であるため、利用者の自己負担に併せて、市が利用料の1割相当額を月6万円を限度として助成することで、費用負担の軽減が図れる。	3
効率性	手段の最適性	利用者は、サービスの利用が終われば、自己負担分を除いた利用料を助成するが、利用期間中は月単位でも助成が可能である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画よりも利用件数が少なく、費用対効果も低かった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	利用がほとんどなかった。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	特になし

配点	25
総合評価	13

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023900	事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	介護予防・生活支援サービス事業	予算事業名	介護予防・生活支援サービス事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	古川 由紀
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		相州市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	居宅要支援被保険者・事業対象者				
	誰(何)を対象として	居宅要支援被保険者・事業対象者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	要支援・要介護状態になることをできるだけ予防し、高齢者自身の力を活かした自立に向けた支援をする。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		居宅要支援被保険者及び事業対象者が高齢者自身の力を活かした自立に向けた支援をすることを目的に、訪問型サービス・通所サービスを行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	事業対象者数	人	—	—	114	125
	サービス件数(訪問型+通所型)	件	—	—	3717	4000
	事業費(訪問型・通所型・ケアマネジメント)	円	—	—	74436013	88532000

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.028	-	0.028	100	
	参事以下職員			-	0.300	-	0.306	102	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	2,686,512	-	2,773,468	103	
	事業費			-	64,685,937	-	75,860,000	117	
	合計			-	67,372,449	-	78,633,468	117	
財源内訳	国庫支出金			-	16,171,484	-	18,965,000	117	
	県支出金			-	8,085,742	-	9,482,500	117	
	市債			-		-		-	
	その他			-	32,342,969	-	37,930,000	117	
	一般財源			-	10,772,254	-	12,255,968	114	
合計			-	67,372,449	-	78,633,468	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業対象者数							
指標説明(式)		事業対象者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	—	—	—	120	—	125	104.2	
	実績	—	—	—	114	—			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—			

【効率性】

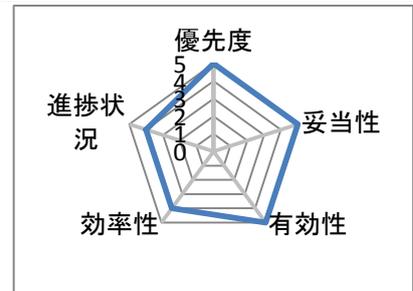
指標名1		1件あたりの事業費							
指標説明(式)		事業費(訪問型+通所型+ケアマネジメント)/実績件数(訪問型+通所型)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	—	—	—	—	—	18000	—	
	実績	—	—	—	20025	—			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	高齢者が日常生活において不便が生じても自宅での生活を継続するために有効なサービスである。	5
効率性	コストの節減	地域支援事業実施要綱(国)を基に、内容及び基本単位の設定を行い、旧介護予防訪問介護・介護予防通所介護に比べ、約2~3割低額とした。	4
	手段の最適性	総合事業の実施にあたり、要介護認定を受けることなく、基本チェックリストを実施することにより速やかなサービス利用につなげることができる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	自立支援通所サービス(緩和型)の実績が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	サービスB型(住民主体による支援)の実施に向け支援や検討が必要である。

配点	32.5
総合評価	30.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302024000	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	介護予防把握事業	予算事業名	介護予防把握事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史 担当者名 富田 智美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	有 主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		介護保険法第115条の45第1項第2号			
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の者とその家族			
	誰(何)を対象として	心身の状況及びその家族等の状況等の実態を把握を実施した高齢者等			
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活機能の低下が確認され、何らかの支援が必要と認められるときは、介護予防活動への参加勧奨を行う			

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域包括支援センターへ委託し、65歳以上の人の自宅を訪問し、心身の状況及びその家族等の状況等の実態を把握するとともに、介護ニーズ等の評価を行い、生活機能の低下が確認され、支援が必要と認められるときは、介護予防活動への参加勧奨を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	実態把握訪問	名	-	-	143	150

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.028	-	0.028	100	
	参事以下職員			-	0.020	-	0.024	120	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	525,472	-	532,696	101	
	事業費			-	3,000,000	-	3,000,000	100	
	合計			-	3,525,472	-	3,532,696	100	
財源内訳	国庫支出金			-	750,000	-	750,000	100	
	県支出金			-	375,000	-	375,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-	1,500,000	-	1,500,000	100	
	一般財源			-	900,472	-	907,696	101	
合計			-	3,525,472	-	3,532,696	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実態把握者数							
指標説明(式)		担当地区である旭地区の高齢者を実態把握する為訪問した人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	-	-	150	-	150	100.0	
	実績	-	-	-	143	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

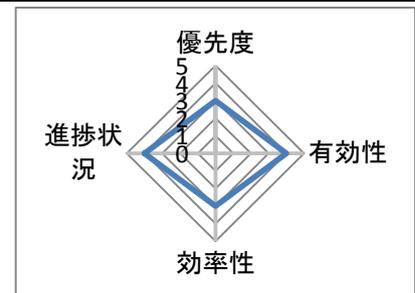
指標名1		訪問対象者1件あたりの委託料							
指標説明(式)		事業費÷実態把握者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	20000	-	20000	100.0	
	実績	-	-	-	20979	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	80歳到達者や80歳以上高齢者のみ世帯等を抽出し訪問することで、生活機能の低下などがみられ、何らかの支援が必要な高齢者に早期に対応できている。	4
効率性	手段の最適性	包括職員が訪問することで、安易に介護サービス等に繋げず、地域のサロンやいきいき百歳体操等の住民主体の通いの場への紹介に努めている。	3
	コストの節減	包括職員の訪問は中央小学校区を担当しており、他の地域は4か所の在宅介護支援センターへ委託している。包括は在介の取りまとめも行っており、在介委託料よりは、コストが高くなっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	同居家族(非高齢者)がいる世帯への実態把握が困難。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	平成30年度に配置した第2層生活支援コーディネーターと連携し、地域の住民同士のつながりも支援していく。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302024100	事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	一般介護予防事業評価事業	予算事業名	一般介護予防事業評価事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	富田 智美	
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		地域支援事業実施要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の者とその家族				
	誰(何)を対象として	66歳以上の者とその家族				
	意図(どのような状態にしたいのか)	一般介護予防事業を含め、地域づくりの観点から総合事業全体を評価し、その評価結果に基づき事業全体の改善を目的とする。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険事業計画の評価を行う上で、必要な項目を適切に選定し、地域の実情を把握するための調査を実施し、調査結果に基づいて評価を行い、計画の見直しを行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査配布数	件	-	-	2485	-
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査回収数	件	-	-	2031	-

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.028	-	0.028	100	
	参事以下職員			-	0.080	-		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	988,552	-	341,992	35	
	事業費			-	2,268,000	-		0	
	合計			-	3,256,552	-	341,992	11	
財源内訳	国庫支出金			-	567,000	-		0	
	県支出金			-	283,500	-		0	
	市債			-		-		-	
	その他			-	1,134,000	-		0	
	一般財源			-	1,272,052	-	341,992	27	
	合計			-	3,256,552	-	341,992	11	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		調査回収数							
指標説明(式)		介護予防・日常生活圏域ニーズ調査のアンケート回収数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	-	-	-	1920	-	-	-	
	実績	-	-	-	2031	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

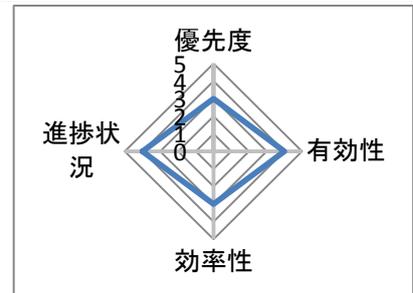
指標名1		調査1件あたりの委託料							
指標説明(式)		事業費÷アンケート回収数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	1181	-	-	-	
	実績			-	1116	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	介護保険事業計画作成のためのニーズ調査を実施する上で、コンサルへ委託することにより、他市や全国的な調査の流れや分析を依頼することができた。	4
効率性	手段の最適性	2000件を超えるアンケート調査の実施・回収・集計・分析についてコンサルへ委託。	3
	コストの節減	地域支援事業を利用することで、市の負担が減る。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	アンケートの集計・分析までは良かったが、その分析結果を十分に計画に反映できなかった。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302024200		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	介護予防・生活支援サービス事業		予算事業名	介護予防・生活支援サービス事業(子育て)	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	石野 絵梨佳	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法、介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン					
事業の目的	誰のために(具体的に)	要支援認定1・2を受けた人、生活機能が低下し基本チェックリストにより介護予防・生活支援サービス事業対象者となった人					
	誰(何)を対象として	要支援認定1・2を受けた人、生活機能が低下し基本チェックリストにより介護予防・生活支援サービス事業対象者となった人					
	意図(どのような状態にしたいのか)	訪問型・通所型ともに、専門職が集中的にケアを行うことで、高齢者の生活機能を改善・向上させることを目的とし、また高齢者のセルフケア能力を高める働きかけを行い、事業終了後も					

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1)通所型:温水プールコスモスのトレーニング室にて、対象者に対し週1回、理学療法士、健康運動指導士、看護師、保健師等の専門職がストレッチ、有酸素運動、筋力トレーニング等による運動器の機能向上指導を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	通所型(開催回数)	回			43	20
	通所型(延人員)	人			120	170
	訪問型(実人員)	人			1	3
	訪問型(延人員)	人			6	36

3 投入資源

		会計区分 介護保険特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.028	-	0.028	100	
	参事以下職員			-	0.132	-	0.104	79	
	臨時職員			-	0.020	-		0	
支出内訳	人件費			-	1,442,568	-	1,168,376	81	
	事業費			-	1,829,255	-	1,465,000	80	
	合計			-	3,271,823	-	2,633,376	80	
財源内訳	国庫支出金			-	457,313	-	366,250	80	
	県支出金			-	228,657	-	183,125	80	
	市債			-		-		-	
	その他			-	914,628	-	732,500	80	
	一般財源			-	1,671,225	-	1,351,501	81	
	合計			-	3,271,823	-	2,633,376	80	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数(通所型)							
指標説明(式)		事業参加者の延べ人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-	244	-	192	78.7	
	実績			-	120	-			
指標名2		事業参加者数(訪問型)							
指標説明(式)		事業参加者の実人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-	3	-	3	100.0	
	実績			-	1	-			

【効率性】

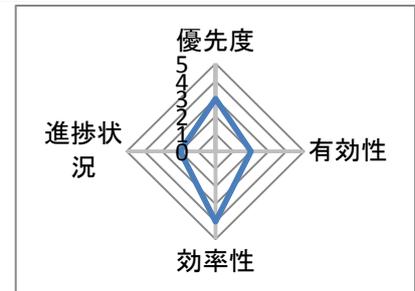
指標名1		教室1回当たりの参加者数(通所型)							
指標説明(式)		延べ参加者数÷開催回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-	5	-	4	80.0	
	実績			-	2	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	通所型・訪問型ともに、本事業における対象者の該当が少なく目標の達成とはならなかった。	2
	関係(根拠)法令から見た効果	通所型・訪問型ともに、事業内容としては、専門職による支援を行うことで、高齢者の生活機能の改善・向上に繋がっているが、事業終了後の継続した取り組みの評価まではできていない。	
効率性	手段の最適性	通所型: 送迎利用希望者へ送迎バスの使用により、虚弱な高齢者が公平に安心して参加できるよう環境整備をしている。 訪問型: 委託専門職による定期的な訪問・個別ケアプランに合った訪問実施の体制は構築できていた	4
	執行体制の効率性	通所型: 従事者間でカンファレンスを行い、教室運営について密に情報共有できている。 訪問型: 地域包括支援センターの職員とともに連携できる体制は構築できている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業開始初年度ということもあってか、事業対象者の確保が困難であり、対象者の選定方法や事業後の継続した評価の必要性を検討する必要がある。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	事業対象者の確保



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者の選定に努めるよう地域包括支援センターをはじめ関係機関との情報共有を積極的に図る。

配点	25
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302040100	事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	地域包括支援センター運営事業	予算事業名	包括的支援事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	富田 智美
取組み事項	在宅福祉の窓口を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		相生市地域包括支援センター運営要綱、在宅介護支援センター運営事業実施要綱、生活支援コーディネーター設置要綱等				
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の65歳以上の高齢者とその家族等				
	誰(何)を対象として	高齢者が要介護状態となることを予防し、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援				
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域における包括的な相談及び支援体制、多様な主体の参画による日常生活の支援体制、在宅医療と介護の連携体制及び認知症高齢者への支援体制の構築等を一体的に推進して				

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市医師会へ委託し、地域包括支援センターの運営、社会保障充実分(認知症・地域ケア会議・在宅医療介護連携等)事業を実施している。また、包括のランチとして市内4か所に在宅介護支援センターを設置している。生活支援事業の推進の為、生活支援コーディネーター				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	包括各種相談件数	件	9847	10138	11287	11500
	介護予防(マネジメント)プラン作成	件	4565	4860	4873	4900
	在介実態把握数	人	575	806	910	800
	生活支援コーディネーター	人	-	1	1	5

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.720	0.420	58	0.340	81	0.376	111	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	5,732,294	3,513,126	61	2,995,232	85	3,329,688	111	
	事業費	43,152,920	53,108,456	123	53,427,048	101	51,961,000	97	
	合計	48,885,214	56,621,582	116	56,422,280	100	55,290,688	98	
財源内訳	国庫支出金	16,829,638	20,712,297	123	20,836,548	101	20,004,985	96	
	県支出金	8,414,819	10,356,148	123	10,418,274	101	1,000,249	10	
	市債			-		-		-	
	その他	9,493,642	11,683,860	123	11,753,950	101	11,951,030	102	
	一般財源	14,147,115	13,869,277	98	13,413,508	97	22,334,424	167	
合計	48,885,214	56,621,582	116	56,422,280	100	55,290,688	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		活動実績							
指標説明(式)		総合相談支援業務件数+権利擁護業務件数+包括的継続的ケアマネジメント件数+介護予防事業ケアマネジメント+予防給付ケアマネジメント件数+在宅医療介護連携件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	9847	10138	103.0	11287	111.3	11500	101.9	
	実績	9847	10138	103.0	11287	111.3			
指標名2		関係機関との会議・各種事業への参加・研修等の参加							
指標説明(式)		市・包括・在介・生活支援コーディネーター等の打合せや会議への参加回数。講師派遣、研修参加回数。							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績	626	731	116.8	772	105.6			

【効率性】

指標名1		高齢者1人当たりの包括支援センター委託料							
指標説明(式)		地域包括支援センター委託料÷65歳以上高齢者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4000	4000	100.0	4000	100.0	4000	100.0	
	実績	3898	4447	114.1	4427	99.6			

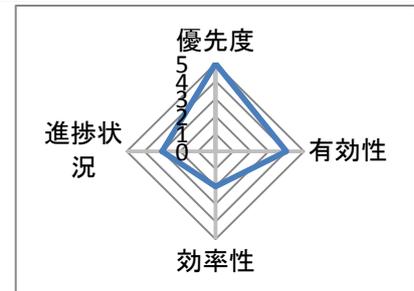
指標名2		在介実態把握の1件当たり委託料コスト							
指標説明(式)		在宅介護支援センター委託料÷実態把握訪問件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6000	7500	125.0	7500	100.0	7500	100.0	
	実績	5217	7444	142.7	6593	88.6			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	在宅介護支援センターや生活支援コーディネーターまた地域住民との連携強化が必要となる。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	高齢者の総合相談機関として、また住み慣れた地域で生活継続を図るための介護予防機関として、在宅高齢者及びその家族の福祉増進が図られている。	
効率性	執行体制の効率性	個別課題については、高齢者からの相談を包括的に受けることで、各高齢者の情報の集約化と効率的な在宅サービスの提供が図られている。	2
	手段の最適性	新しい取り組みである社会保障充実分については、包括内だけでなくあらゆる関係機関との連携強化が必要となるが、包括内部の連携や情報伝達がうまくいっていない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	平成27年度より位置づけられている社会保障充実分(在宅医療介護連携、生活支援体制整備等)の活動が、計画的に取り組めていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	地域包括支援センターへ、年間の重点目標を明確にし、その目標を達成するための年間スケジュールを策定するよう指示していく。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302040200		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	市民後見推進事業		予算事業名	市民後見推進事業	優先度	4
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	三浦 貴史	担当者名	尾川 真紀
取組み事項		在宅福祉の窓口を充実する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		老人福祉法第32条の2						
事業の目的	誰のために(具体的に)	判断能力が不十分となった高齢者等及び家族						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者等が安心して暮らせるよう、後見制度の浸透を図るとともに、市民後見人推進体制の確立を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		判断能力が不十分となった高齢者等が安心して暮らせるよう、後見制度の浸透を図るとともに、市民後見人推進体制の確立を図る。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	成年後見支援センターとの連絡会の開催回数	回	0	6	6	6	
	市民後見人養成人数	人	0	0	4	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.160	0.096	60	0.120	125	0.120	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,542,374	1,071,786	69	1,297,272	121	1,295,512	100	
	事業費	87,640	1,620,044	1,849	1,790,109	110	1,681,000	94	
	合計	1,630,014	2,691,830	165	3,087,381	115	2,976,512	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	87,000	1,572,000	1,807	1,740,000	111	1,611,000	93	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,543,014	1,119,830	73	1,347,381	120	1,365,512	101	
合計	1,630,014	2,691,830	165	3,087,381	115	2,976,512	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		西播磨成年後見支援センターとの連絡会の開催回数							
指標説明(式)		西播磨成年後見支援センターとの連絡会の開催回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	6	-	6	100.0	6	100.0	
	実績	0	6	-	6	100.0			
指標名2		専門職による成年後見相談会の実施回数							
指標説明(式)		専門職による成年後見相談会の実施回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	2	-	2	100.0	1	50.0	
	実績	0	2	-	2	100.0			

【効率性】

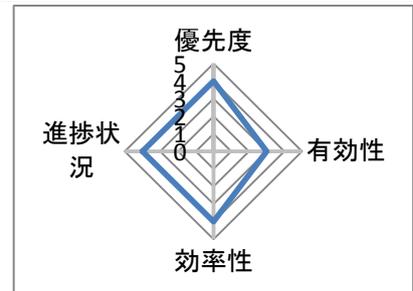
指標名1		事業費に対する市の負担割合							
指標説明(式)		事業費に対する市の負担割合							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	3.9	-	4.2	107.7	
	実績	0	3.0	-	2.8	93.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	市民への後見制度及び市民後見人に対する普及啓発を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを図る。	3
	組織運営・適正管理	西播磨成年後見支援センターとの連絡会を定期的に行い、センターの適正な運営、有効な活用に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	西播磨成年後見支援センターが設立されたことにより、専門職や他市町との連携がしやすくなり、より高度な相談に対応できる環境ができた。	4
	コストの節減	西播磨成年後見支援センターと協力することで、市だけでは開催が難しい市民後見人養成研修や講演会を毎年安定的に実施できるようになった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	30年度から県補助金の割合が少なくなるため、西播磨成年後見支援センター事業委託金の市負担分が増加する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	西播磨成年後見支援センターの周知、事業のPRなどに努める。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010100		事業の種類	9	
年度	29	事務事業名	介護給付費準備基金積立金		予算事業名	介護保険事業 優先度	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	その他		担当課長	三浦 貴史		担当者名	古川 由紀
取組み事項	その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市介護給付費準備基金条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護給付事務を円滑に進めるため					
	誰(何)を対象として	介護給付事務を円滑に進めるため					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護給付事務を円滑に進めるため					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護給付費準備基金利子及び前年度繰越分の積立				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	積立金(残高)	円	24310615	38101000	25511850	390000

3 投入資源

		会計区分 介護保険特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.028	117	0.028	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	524,822	529,266	101	587,216	111	564,480	96	
	事業費	24,310,615	38,101,000	157	25,511,850	67	390,000	2	
	合計	24,835,437	38,630,266	156	26,099,066	68	954,480	4	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	24,310,615	38,101,000	157	25,511,850	67	390,000	2	
	一般財源	524,822	529,266	101	587,216	111	564,480	96	
合計	24,835,437	38,630,266	156	26,099,066	68	954,480	4		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

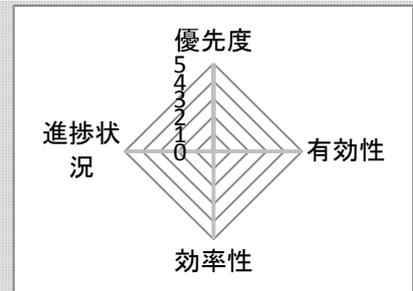
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010200		事業の種類	9	
年度	29	事務事業名	還付金		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	財務部徴収対策室		
施策名(中)		その他		担当課長	平松 孝夫	担当者名	萩原 大樹
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民					
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な保険料賦課					

2 事業の概要 Do

実施の概要		保険料の還付					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	保険料還付人数	人	34	24	45	-	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.044	0.076	173	0.020	26		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	674,462	921,086	137	525,472	57	341,992	65	
	事業費	274,507	295,600	108		0		-	
	合計	948,969	1,216,686	128	525,472	43	341,992	65	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	948,969	1,216,686	128	525,472	43	341,992	65	
合計	948,969	1,216,686	128	525,472	43	341,992	65		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

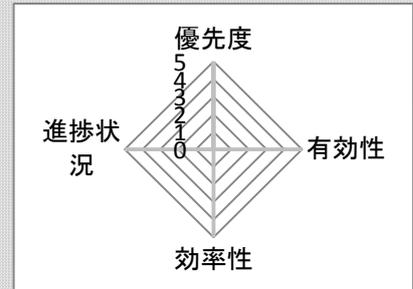
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010300		事業の種類	9			
年度	29	事務事業名	償還金		予算事業名	介護保険事業		優先度	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		その他			担当課長	三浦 貴史		担当者名	古川 由紀
取組み事項		その他			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	国・県							
	誰(何)を対象として	国・県への返還金							
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業精算後、国・県から補助金返還の要請があった場合に返還する業務							

2 事業の概要 Do

実施の概要		事業精算後、国・県から補助金返還の要請があった場合に返還する業務				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	社会保険診療報酬支払基金償還金	円	485834	1602709	6011214	0
	国庫負担金償還金	円	10417819	10491756	27382976	15497821
	県費負担金償還金	円	7945739	2605410	5589490	0

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.032	0.032	100	0.036	113	0.036	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	584,678	589,546	101	648,960	110	628,048	97	
	事業費	18,849,392	14,699,875	78	38,983,680	265	1,000	0	
	合計	19,434,070	15,289,421	79	39,632,640	259	629,048	2	
財源内訳	国庫支出金	10,417,819	10,491,756	101	27,382,976	261	1,000	0	
	県支出金	7,945,739	2,605,410	33	5,589,490	215		0	
	市債			-		-		-	
	その他	485,834	1,602,709	330	6,011,214	375		0	
	一般財源	584,678	589,546	101	648,960	110	628,048	97	
合計	19,434,070	15,289,421	79	39,632,640	259	629,048	2		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

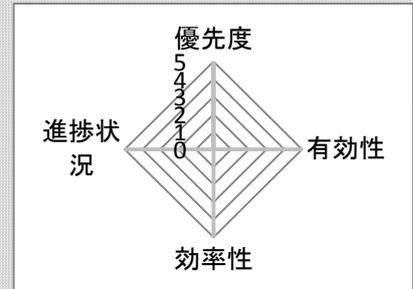
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010400		事業の種類	9	
年度	29	事務事業名	予備費	予算事業名	介護保険事業	優先度	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	その他		担当課長	三浦 貴史	担当者名	古川 由紀	
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護保険事業					
	誰(何)を対象として	介護保険事業の円滑化					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護保険事業の不測の事態に備えるため					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険事業の不測の事態に備えるため				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
	事業費	0	0	-	0	-	1,000,000	-	
	合計	345,254	348,426	101	371,112	107	1,341,992	362	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	345,254	348,426	101	371,112	107	1,341,992	362	
合計	345,254	348,426	101	371,112	107	1,341,992	362		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

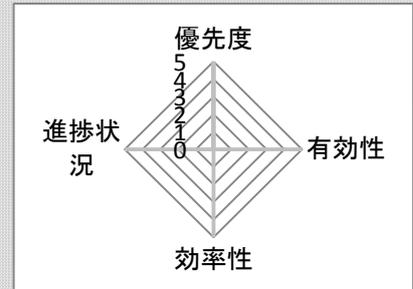
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010500		事業の種類	9	
年度	29	事務事業名	予備費	予算事業名	予備費	優先度	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)	その他		担当課長	佐原正樹	担当者名	木下卓巳	
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	後期高齢者医療特別会計					
	誰(何)を対象として	後期高齢者医療特別会計					
	意図(どのような状態にしたいのか)	後期高齢者医療特別会計の円滑な運営のため					

2 事業の概要 Do

実施の概要		後期高齢者医療特別会計の円滑な運営のために予備費を計上				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	予備費	円	0	0	0	200000

3 投入資源

会計区分 **後期高齢者特別会計**

事業費単位:円

インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
	事業費			-	0	-	200,000	-	
	合計	345,254	348,426	101	371,112	107	541,992	146	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	345,254	348,426	101	371,112	107	541,992	146	
合計	345,254	348,426	101	371,112	107	541,992	146		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

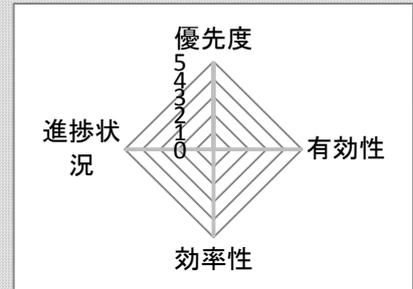
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0